

● 資料編 ●

目次

1. 第3期区民会議委員・参与名簿	33
2. 第3期区民会議の活動の記録	34
3. 第3期麻生区区民会議関連資料	
3-1 提案された審議課題一覧及び部会名称	35
3-2 【地域交流・文化部会】の審議課題の選定経過	36
3-3 【環境・緑化部会】の審議課題の選定経過	37
3-4 「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」ヒアリング調査結果	38
3-5 「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」ガイドブックのイメージ	40
3-6 「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」ヒアリング調査結果	43
3-7 エコ啓発用パンフレット「エコのまち麻生」配布先一覧	44
3-8 「麻生区生ごみアンケート」回収先一覧	
3-9 麻生区生ごみアンケート結果報告	45
3-10 電動生ごみ処理機一次生成物回収についての聞き取り調査	52
3-11 「生ごみリサイクルモデル事業」事業計画書	53
3-12 麻生区の緑の現状や管理状況などについて	54
4. 区民会議ニュースと広報紙掲載記事	55

(1) 第3期麻生区区民会議 委員

平成22年7月1日～平成24年6月30日

氏名	分野	推薦団体等	所属部会	役職等
天野 悦子	公募	公募	環境・緑化／企画	副委員長
飯塚 馨	市民自治分野	麻生区町会連合会	環境・緑化	
石井 郁朗	地域特性(文化芸術)	区長推薦	地域交流・文化	
植木 昌昭	公募	公募	地域交流・文化	
魚本 陽子	福祉、健康分野	麻生区社会福祉協議会	地域交流・文化	
大高 泰雄	地域特性(4大学連携)	区長推薦	環境・緑化	
梶 稔	地域特性(農業)	区長推薦	環境・緑化	
勝田 佳代子	公募	公募	環境・緑化	
金光 秀尚	市民活動団体	区長推薦	環境・緑化／企画	企画部会長
鴨志田 敏彦	産業分野	麻生区商店街連合会	地域交流・文化	
菅原 敬子	文化、観光分野	麻生区文化協会	地域交流・文化	
竹市 八郎	市民活動団体	区長推薦	地域交流・文化／企画	地域交流・文化部会長
武濤 京子	学識経験者	区長推薦	地域交流・文化／企画	委員長
田中 元介	公募	公募	地域交流・文化／企画	
土井 司	公募	公募	地域交流・文化／企画	
高瀬 隆雄	緑、環境分野	川崎市美化運動実施麻生支部	環境・緑化	
東川 禎男	公募	公募	環境・緑化	
福田 真	公募	公募	環境・緑化／企画	環境・緑化部会長
柳島 五郎	交通安全分野	麻生区交通安全対策協議会	地域交流・文化／企画	副委員長
山崎 優	教育、子育て分野	麻生区子ども連合会	環境・緑化	

(2) 第3期麻生区区民会議 参与

氏名	所属	会派	備考
雨笠 裕治	市議会議員	民主党	
尾作 均	〃	自民党	
勝又 光江	〃	共産党	
木庭 理香子	〃	民主党	H23.5.3～
月本 琢也	〃	みんなの党	H23.5.3～
花輪 孝一	〃	公明党	
山崎 直史	〃	自民党	
伊藤 久史	元市議会議員	民主党	H22.7.1～H.23.5.2
山口 和子	〃	神奈川ネット	H22.7.1～H.23.5.2
相原 高広	県議会議員	無所属	
吉田 大成	〃	民主党・かながわクラブ	

区分	平成24年																								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月													
区民会議 [開催回数] 区民会議7回	<p>事前説明会(7月21日)</p> <p>第1回区民会議(8月4日) ・委員長及び副委員長の選出について ・区民会議の運営について ・企画部会委員の選出について ・調査審議課題の選定について</p>			<p>第2回区民会議(10月1日) ・専門部会の設置について ・広報・公民館活動について ・調査審議課題について</p>				<p>第3回区民会議(2月24日) ・調査審議課題について</p>				<p>第4回区民会議(6月8日) ・調査審議課題について</p>	<p>第5回区民会議(8月29日) ・調査審議課題について</p>	<p>区民会議フォーラム(9月25日)</p>	<p>第6回区民会議(2月13日) ・調査審議課題について</p>	<p>区民会議フォーラム(3月3日)</p>		<p>第7回区民会議(5月25日) ・第3期区民会議における提言について</p>	<p>6月30日 第3期麻生区区民会議委員の任期満了(報告書の提出)</p>						
企画部会			第1回部会(9月6日)					第2回部会(2月10日)				第3回部会(5月20日)						第4回部会(8月1日)	第5回部会(2月26日)	第6回部会(1月24日)			第7回部会(5月7日)		
地域交流・文化部会					第1・2回部会(11月5・30日)					第3回部会(1月18日)		第4回部会(3月8日)	第5回部会(4月28日)	第6回部会(5月17日)				第7回部会(7月12日)	第8回部会(8月11日)	第9回部会(9月12日)	第10回部会(10月12日)	第11回部会(11月7・30日)	第12回部会(11月12日)	第13回部会(1月13日)	第14回部会(3月11日)
環境・緑化部会					第1・2回部会(11月12・29日)					第3回部会(1月13日)		第4回部会(3月7日)	第5回部会(4月28日)					第6回部会(7月15日)	第7回部会(8月22日)	第8回部会(9月16日)	第9回部会(10月14日)	第10回部会(11月28日)	第11回部会(12月9日)	第12回部会(1月12日)	第13回部会(2月20日)

3-1 提案された審議課題一覧及び部会名称

地域交流・文化部会

環境・緑化部会

<p>I 安全で快適に暮らすまちづくり</p>	<p>II 幸せな暮らしをもに支えるまちづくり</p>	<p>III 人を育て心を育むまちづくり</p>	<p>IV 個性と魅力が輝くまちづくり</p>	<p>VII 参加と協働による市民自治のまちづくり</p>	
<p>災害・危機対応 1 緊急災害時における緊急医療体制 2 自主防災組織と災害時の災害者2次避難所との連携</p>	<p>高齢者 5 コミュニティで介護を下ささえる出来る社会環境の実現 6 高齢者が安心して生活できる環境づくり 7 麻生区自殺低減作戦 8 福祉施設の地域での役割と連携のみちすじづくり</p>	<p>子育て 9 子育てしやすい環境づくり 10 働くおおかあさんがんばって！作戦 11 地域の子育てと遊び場(調整池の利用) 12 総合型地域スポーツクラブの設立</p>	<p>文化・芸術 24 区制30周年に合わせた区民参加と地域づくりの検討 25 区制80周年を記念した「区民の木、花」決定に向けての取り組み検討 26 「しんゆり・芸術のまち」のイメージ強化 27 「しんゆり・芸術のまち」の情報発信 * 28 芸術祭を盛り上げる企画</p>	<p>市民活動 29 市民利用施設、活動支援拠点施設の連携ネットワーク 30 区内の情報を整理し統合した「あさお情報センター」 31 区民参加の麻生区づくりに関する区民の声を聞くフォーラムの開催</p>	
<p>地域交通 3 交通空白地域等へのコミュニティ交通 4 公共交通と地域内交通のあり方</p>	<p>地域のつながり(交流) * 13 大学生と連携した活動 * 14 異世代間の交流 15 子育て世代と高齢者との日常的な交流の場づくり * 16 地域コミュニケーションストア作り</p>			<p>地域をつなぐ(交流) 再掲</p>	<p>その他 32 第1・2期の課題の担い手の発掘と育成 33 第1・2期で取りまとめた内容の再精査と継続等の検討</p>

<p>IV 環境を守り自然と調和したまちづくり</p>	<p>緑化(保全) 17 農地を含む自然環境の保全活動 18 緑と農 19 市民による緑地保全のための里山ホフアゲイ制度 20 区の緑地・公園の再整備と維持管理制度の確立</p>	<p>環境 21 家庭エコ活動の拡大展開 * 22 (エコのまち麻生の推進)生ごみ分けの相談会、生ごみ推進による写真展、地産地消 * 23 (エコのまち麻生の推進)レジ袋削減、ごみ減量、自然エネルギーや省エネなど地球温暖化防止対策、太陽熱温水器、風力発電機、非電化冷蔵庫</p>
-----------------------------	--	--

<p>その他 32・33再掲 32 第1・2期の課題の担い手の発掘と育成 33 第1・2期で取りまとめた内容の再精査と継続等の検討 35 町内会・自治会との連携</p>

注 意
・第2期区民会議の取組や提言に関する内容は、「*」を付けています。
・市実行計画の基本政策の分類 I～VIIIに基づき、各課題提案を仕分けしましたが、「V 活力にあふれ躍動するまちづくり」項目に該当する提案はありませんでした。

3-2 【地域交流・文化部会】の審議課題の選定経過

1 調査審議課題の整理

(1) 調査審議課題について(委員からの提案)

1 区民会議として調査審議等をする必要 がある課題

- 1 高齢者が安心して生活できる環境づくり
 - 2 子育てしやすい環境づくり
 - 3 働くおかささんががんばって作戦
 - 4 異世代間の交流
 - 5 子育て世代と高齢者との日常的な交流の場づくり
 - 6 地域コミュニケーション作り
 - 7 区内の情報を整理し統合した麻生情報センターの設置
- 32 第1・2期の課題の担い手の発掘と育成

3 市などの取り組みについて、適宜経過 などを把握していく必要がある課題

- 14 交通空白地域等へのコミュニケーション交通

未分類の課題

- 20 緊急災害時における緊急医療体制
- 21 コミュニティで介護を下さえ出来る社会環境の実現
- 22 地域の子育てと遊び場(調整池の利用)
- 23 総合型地域スポーツクラブの設立
- 24 第2期地域交流部会の継続取組み

2 市などの取り組みに連携・協力し ていく必要がある課題

- 8 自主防災組織と災害時の障害者2次避難所との連携
- 9 区制30周年に合わせた区民参加と地域づくりの検討
- 10 区民の木・花の決定に向けた取り組み
- 11 しんゆり・芸術のまちのイメージ強化
- 12 しんゆり・芸術のまちの情報発信
- 13 芸術祭を盛り上げる企画

4 その他

- 15 (1~3)に分類することが困難な課題)
- 16 麻生区自殺低減作戦
- 17 大学生と連携した活動
- 18 市民利用施設、活動支援拠点施設の連携ネットワーク
- 19 区民参加の麻生区づくりに関する区民の声を聞くフォーラムの開催
- 20 町内会・自治会との連携

- 25 公共交通と地域内交通のあり方
- 26 福祉施設の地域での役割と連携の連携づくり
- 27 第1・2期で取りまとめた内容の再精査と継続等の検討

(2) 調査審議課題の分類

1 調査審議課題

- (ア) 子育てしやすい環境づくり
- (イ) 高齢者・障がい者が暮らしやすい環境づくり
- (ウ) 地域のつながり～世代間交流
- (エ) 区民への情報の収集・発信システムづくり
- (オ) 地域活動等の担い手の発掘及び育成



3 取り組み経過などを把握する課題

- (ア) 地域交通について



4 その他

- (ア) 各課題解決に向けた取り組み方法
- (イ) 上記に含まれないもの

2 市・他団体等と連携・協力する課題

- (ア) 災害時の連携体制の整備
- (イ) 区制30周年に併せた区民参加の地域づくりの推進
- (ウ) しんゆり芸術のまちづくりの推進



未分類の課題

- (ア) 環境・緑化部会所属委員の提案課題
- (イ) 第2期区民会議提案事項

* 1・2に分類された課題を中心に進め、それ以外の課題は関連性などを考慮して対応

2 調査審議課題の決定と取り組み経過

1 高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり

- 1 高齢者の課題を優先的に調査審議を実施
 - ・各委員が課題と考える事項を再度出し合った結果、高齢者の課題が一番多く優先順位も高いことを共有化。
- ・高齢者の課題を中心に、地域で支え合うコミュニケーションなどについて検討その過程において、関連する事項(障がい者など)について検討していく。



- ・現状把握のための勉強会の開催やヒアリング調査の実施などを通じた課題解決策の検討

2 区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり

- 1 しんゆり芸術のまちづくりの推進
 - ・様々な形で情報発信はされているが全区的な視点で見るとまだ十分には周知されていない状況がある。
 - ・現状の情報発信状況の調査や、芸術関連事業の実施団体へのヒアリング調査
 - ・課題解決策の検討
- 2 区制30周年に合わせた区民参加の地域づくりの推進
 - ・区制30周年記念事業実行委員会の動向に合わせた協力・支援方法実行委員会への委員選任、区の木、区の花の募集への協力など



3-3 【環境・緑化部会】の審議課題の選定経過

1 調査審議課題の整理

(1) 調査審議課題について (委員からの提案)

- 1 クラインガルテン (宿泊施設付き市民農園)
- 2 生ごみリサイクルのシステムづくり
・東京農業大学型プラント施設等の設置に向けた取組
- 3 里地・里山保全の活動団体の連携
・ネットワーク化、情報共有化
- 4 緑地管理方法
- 5 公園管理(身近な緑)
・愛護会、協議会。基準づくり(ネットワーク化を含む)
- 6 環境家計簿を通じたCO₂削減活動

7 エコドライブの推進

8 自転車活用社会の推進

9 街路樹植栽の拡大

10 家庭での植栽

11 ボランティア活動の連携

- ・里地・里山ボランティア、農業ボランティアなどの調整
- ・各活動の広報活動、各種制度の構築

12 各団体の横のつながりの構築

- ・農家、市民活動団体、区民の方など

13 第2期区民会議取り組み課題の継承

2 調査審議課題の分類

(1) (仮称)エコ活動、エコの推進 (左記2・6)

- ア 生ごみリサイクルのシステムづくり
- イ 環境家計簿を通じたCO₂削減活動

(2) (仮称)グリーンアップ (左記3・4・5・11・12)

- ア 農と緑の保全のためのネットワークの拠点づくり

(3) 第2期区民会議取り組み課題の継承

2 調査審議課題の決定と取り組み経過

(1) 循環型のまち・生ごみリサイクル

- ア 生ごみリサイクルのシステムづくり
 - ・川崎市のごみに関する現状把握のための勉強会
- ・あさお生ごみアンケートの実施などによる区民意識調査の実施
- ・生ごみリサイクル事業の実施
- ・アンケート調査、モデル事業実施結果などを踏まえ、課題解決策の検討

イ 環境家計簿を通じたCO₂削減活動

- ・麻生まちづくり市民の会などで実施していることから、区民会議としては調査審議課題とはせず、それら取組に協力することになった。

(2) グリーンアップ・里山ボランティア

- ア 里山ボランティアの新設
 - ・区内緑地の保全状況などの現状把握のための勉強会
- ・既存活動団体の活動参加、ヒアリング調査などの実施
- ・里山ボランティアモデル事業の実施
- ・モデル事業実施結果などを踏まえ、課題解決策の検討

(3) エコのまち麻生啓発パンフレットの作成・検討

- ・第2期区民会議「麻生区エコカルテ」の取り組みを継承して実施

3-4 「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」ヒアリング調査結果

(1) 区社会福祉協議会へのヒアリング

区社会福祉協議会の在宅福祉サービス事業の1つ「ささえあい事業」について、その支援内容や、担い手である協力員の実態、事業運用状況・課題などを、麻生区社会福祉協議会の担当者に向った。

番号	ヒアリング対象事業	ささえあい事業の担い手＝協力員について	ささえあい事業の支援内容、実施状況など	課題とその解決に向けて
1	区社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 協力員は現在50～60名登録。60代、女性が多い。 入門講座を開き、受講者の希望で登録（～平成21年度） 協力員同士の交流のつどいを催し、情報交換や課題研修 ボランティア活動（年度）は1人当たり月1回、多くは毎月1回1回程度。 向上、下麻生等の自治会が独立して事業展開をしている。 パンフレット、広報誌「ほほえみ」等でPR 	<ul style="list-style-type: none"> 区社協の窓口で支援受付し、内容によっては下見や家庭訪問により状況確認をした上で、対応可能な協力員に割り付けて、支援を行っている。 支援内容は高齢者等への話し相手、一時の買い物、外出支援等。 支援回数（年度）は1人当たり月1回、多くは毎月1回1回程度。 向上、下麻生等の自治会が独立して事業展開をしている。 パンフレット、広報誌「ほほえみ」等でPR 	<ul style="list-style-type: none"> 各協力員の事後報告提出の集約が完全でないため、重態把握に困難 ささえあい事業も含まれた区社協の事業全体についての見直し検討を、平成23年度内に進めていく予定。 町会・自治会等の各地区に在宅福祉サービスの事業を拡げ、区民の間で不公平のない支援実施を展開していきたい。そのための組織づくりやノウハウ提供ができるサポートセンターとして区社協を位置付け、展開していきたい。

(2) ボランティア団体などの活動団体へのヒアリング

地域でのささえあいの活動等を積極的に行っている団体について、麻生区社会福祉協議会との工夫や市（区）への要望などを知った。

番号	ヒアリング対象団体	団体の概要・現状	活動に当たった課題など	要望など
1	グッドネイバース	<ul style="list-style-type: none"> 平成4年10月、区社協、区役所、市民会館から発足。現在70名登録。構成員は女性が98%で、高齢化が進んでいる。 在宅モビリティと高齢者の個別支援や、施設へ向けてのロビーコンサートなどグループ支援を実施。 役員6名の合議制で組織運営。 	<ul style="list-style-type: none"> 一番深刻な問題は、支援対象者からの依頼が少ないこと。 団体自身のPR、区社協の広報とともに、ホームページやチラシでのPRだけでは対象の高齢者が見えてくれないのが、その効果に疑問。 近所の繋がりが弱く、活動の活性化とメンバー確保の課題。 活動費用や配達費がシリン交通費も負担。現状はほぼ無償ボランティア。 配達日はグループに分かれて約1時間かかる。 設立や量に比べて、現在数で限界（これ以上の増は難しい）。 届け先の方とコミュニケーション等をゆっくり取る時間が取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> 区民会議で、町内会・民生委員・区社協など関連する部門を構築した形のキャンペーン（フオーメ）などを企画し、各部門での活動をPRできる場があるとよい。 対象となる高齢者に情報が伝わる手段を検討してほしい。
2	配食サービス「柿の実会」	<ul style="list-style-type: none"> 毎木曜日に利用者宅に食事を配達。一級障がい者専用車を使用。 現在会員38名（調理25名、配達23名。一部重複）、利用者45名。 利用者より毎月1万500円を材料費として徴収。 市社協、区東地区社協、祈生社協、東共同募金会等の助成 月1回の定例会と献立会と献立会等を検討する総会、配達の会で開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が少なく、活動の活性化とメンバー確保の課題。 活動費用や配達費がシリン交通費も負担。現状はほぼ無償ボランティア。 配達日はグループに分かれて約1時間かかる。 設立や量に比べて、現在数で限界（これ以上の増は難しい）。 届け先の方とコミュニケーション等をゆっくり取る時間が取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> メンバーに男性が少なく、男性に参加してほしい。 若者には生活のためにより多くのお金をもらえらる場を仕事をしたくない...との考えもある。 井業者やホームヘルパーの利用など、利用者側の選択も多様化している。
3	「さしす」	<ul style="list-style-type: none"> 平成9年4月発足。高校生・大学生対象の地域福祉ボランティア講座受講生が部若としてスタート。現在メンバー22名登録。 主に肢体不自由、発達障害、自閉症グループの当事者会を作りグループ対応。 年間37回イベント（キャンプ、旅行、お話し会）＝平成22年度実績。 社協助成金事業（平成13年度～）。 	<ul style="list-style-type: none"> メンバーが専業主婦から大学生、社会人となり、環境の変化が生じたが志のある仲間でのところは継続できている。 現在、学生のボランティア活動も福祉分野以外にも多様化しており、メンバー人数はさほど増えないが、プロフェッショナルに働く等、工夫して運営。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人ニーズは行政の制度で対応してほしい。 行政の広報は、単なる連絡事項であり、それは違う区民の立場にたつた広報を区民会議で提案してほしい。

(3) 町会・自治会へのヒアリング

「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」をテーマとして、「地域でささえあひコミュニケーションシステムづくり」をどのようすめたらよいかを部会で審議しており、その課題解決の方向性を踏まえて、その有力な担い手である町会・自治会の役員の方にも意見を伺った。

番号	ヒアリング対象町会	町会・自治会の現状	活動状況	課題等
1	新百ヶヶ丘自治会	<ul style="list-style-type: none"> 現在、加入世帯は940世帯。 開発後35年が経過。住民の町会加入率は非常に高い。 構成世帯は戸建て。集合住宅世帯がない。 「お互いの顔が見えるまちづくり」を目標としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 防火防災研修会を立ち上げ、防犯パトロール隊編成（登録80世帯）。 一週1回の定期パトロール。青い、運転経歴取得、ワンフットパトロール隊など 防火情報の配信。玉串奉納防犯パトロールの配布。 防炎フッククラブ。防災意識を公園に設置。防災訓練を実施。 防炎フッククラブ。老人会活動（俳句の会など）をバックアップ。 子ども会がない。一隣町会の協力を得て、子供向けイベントを企画。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障害者、子どもなどの情報入手が困難。 一市の災害時要援護者支援制度とは別に、自治会独自の運用基準を作り、民生委員、福祉厚生課、各プロック役員を中心に、「向こう三軒両隣」での支援を掛け、お隣同士の繋がりを進めているが、要援護者登録者以外に、どこにどういう高年齢者、障がい者、子どもがいるのか、の情報を調べるのが困難。 町会・自治会役員は任期の問題 町会・自治会活動は新たな課題に取り組むことが難しい現状。担い手発掘の必要と、町会・自治会活動の体制を整えるシステム作りを「まゆり」に期待。
2	千代ヶ丘自治会	<ul style="list-style-type: none"> 現在、加入世帯は180世帯。 開発は昭和48年頃で、組織率は高い。 構成世帯は戸建てが中心。 	<ul style="list-style-type: none"> 敬老の日に65歳以上の老人にお祝いを贈呈（46戸）。 比較的元気な世帯が多く、70～80世帯は夫婦2人暮らし。 民生委員は1名。 ほかの7町会と協力して、益譲り等を千代ヶ丘小学校で合同開催。 4町会が協力して、子ども会活動を展開。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内に川崎看護学院や障がい者のグループホームがあり、災害時避難場所（千代ヶ丘小学校）での受け入れとそれの際の避難協力について、今後協定を結ぶ予定。 小学校周辺の避難場所はあるが備蓄品も少なく、中学校まで必要備品を取りに行かなければならない点など、今後検討が必要。
3	岡上町内会	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度世帯数約2,200戸、町会加入世帯数は約1,968戸。 昨年、町会60周年を迎えたほど、その歴史は古い。 町内地区は鶴岡川に臨む形で多くの箱面体や埋地。里山を残す。 東側地区は鶴岡川に臨む形で多くの箱面体や埋地。里山を残す。 西側地区は昭和30年代中期以降の宅地開発移住者で構成。 	<ul style="list-style-type: none"> 町会が民生委員を受け入れ、古くから「講中」組織もあり、ささえあつてきた。正月の「どんた」焼き、夏祭りなどの行事も、業者を入れずに住民、子ども会、青年部、A向山婦人部などの協力で開催している。 ささえあいの活動については、町会内に地域支援チームを作り、町内を4地区に分けて相談受付担当を設けている（最近利用者がいない）。グッドネイバースと民生委員が相談受付を行い、さらにボランティア4名が支援要請時に対応。 町内会委員はアバウト、マンションのオーナーが加入者を支払っている。 70歳以上の人を対象に敬老会に案内（昨年：360名中120名参加）。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、相談受付の利用者が少ない状況だが、今後高齢化の進展や単身高齢者世帯の増加が見込まれるため、引き続きささえあひ活動は必要と考える。 ささえあひを行う上で、民生委員の負担が大きい。その負担を減らすために町会として新たなボランティアを募集し、サポート体制づくりが必要と考える。また、ボランティア活動を通じてグッドネイバースの活動参加者も増やしたい。 アバウトに住む若人も孤立者が多く、地域の方からの声かけ等動きかけが必要。

(4) 地域活動の担い手について（地域活動の推進に向けた人材育成）

最近、町内会や活動団体で「メンバーの高齢化で後継者がいない」「何かをするに
も旗をあげる人がいない」という言葉がよく聞かれる。昨年度の区民会議のフォーア
ム『ご近所の底力』では、地域活動の担い手として「その時、そこに誰がいるのか」と
いう視点が必要と語られている。

区民会議も、そろそろ課題解決の観点から「地域活動の担い手」を考える時期にさ
っており、現役を離れた地域のシニアこそ、この対象に充分あてはまると考えられる。

① この前提をベースに、麻生区における状況について、生涯学習を主管する麻生 市民館に現状を確認した。

(ア) 生涯学習の推進主体（区民協働推進部生涯学習支援課）として、幅広い分野を
担当されているとおもいますが、「地域活動の担い手づくりを、どのように考えていま
すか。

・区民の「学び」を支援して、土壌をつくる種まきをしているが、講座終了後
は受講者の判断であるため「地域活動の担い手」になるとは限らない。
講座終了後希望者には、受け皿を紹介しているが、講座の内容によっては、
受け皿として選択肢が厳しい場合もある。講座を受けた方でグループを作る
ケースもあるが、あくまで主体は受講者なので、希望があれば活動の可能な
団体についている。

(イ) 「地域活動の担い手づくり」について、23年度の事業として具体的に、何を企画、実
施されていますか。

・現在、「地域活動の担い手づくり」という具体的な観点で取り組んでいる事業は
ないが、結果として地域活動の「担い手」になっているケースはある。

(ウ) 麻生区の「生涯学習推進会議」の現状と役割について教えて頂きたい。そこで
「地域活動の担い手づくり」についてのアクションがあれば知りたい。

・年1回会議があるが、「地域活動の担い手」について具体的なアクションは
ない。現在、各分野で実施している生涯教育がわかる HP をつくる準備をし
ているが、市の HP が変わるので状況待ちである。
今年、実務担当者の推進会議を実施する予定にしている。

(エ) 全体としての課題は、また「区民会議」に望むものはなんですか

・市民館の生涯学習事業は、教育委員会の要綱に基づき実施しているのが現
状である。しかしその中にも、市民自主学級・自主企画事業という、市民協
働型の事業があるので、そのような事業を通してお手伝いできると思う。是非
ご活用いただければと思う。

・上記のようなものご紹介を頂ければと思う。

② 現状における課題

(ア) 「地域活動の担い手」について、問題意識は共有していても具体的な旗振り役
（展開）が現状では明確でない。

(イ) 「生涯学習推進会議」が形骸化していないか。年1回開催程度では何も発信でき
ないのではないか。

(ウ) いろいろな取り組みが単発では実施されているが、それらを統合する根本原理
が欠けている。だから、それらの項目を関連づけ、まとめて捉えるということができ
ていない。

(エ) 現状の生涯学習は幼児から高齢者までと守備範囲が広く、それを少ない職員が
担当し、2・3年で異動する行政の現状では「地域活動の担い手」という長期的なスバ
ーンでの発想は出にくいのではないか。

「学ぶこと、議論をすることが好きな人は多い。市民館が今後やるべきことは、
啓発すること、人材補給すること、同じようなことをやっているところと、どう実際
に結びつけるか、育てるかというところが大切」

「時間ができたから何かやろうといっても、いきなり飛べないので、助走を作る
環境が必要となってくる」

「学んだり教わったりした後に一歩進めていく機能がない。人材を送りだすの
は大事だが市民館にそこまで要求していいのか」

「リーダー養成は、机上論になると不幸。地域できちっと活動して、ぞうきんが
けをしたリーダーでなければ、地域を知らなすぎて困る」

（以上、平成20・21年度川崎市麻生市民館運営審議会報告書より抜粋）

3-5 「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」ガイドブックのイメージ

(1) 高齢者のケース別案内

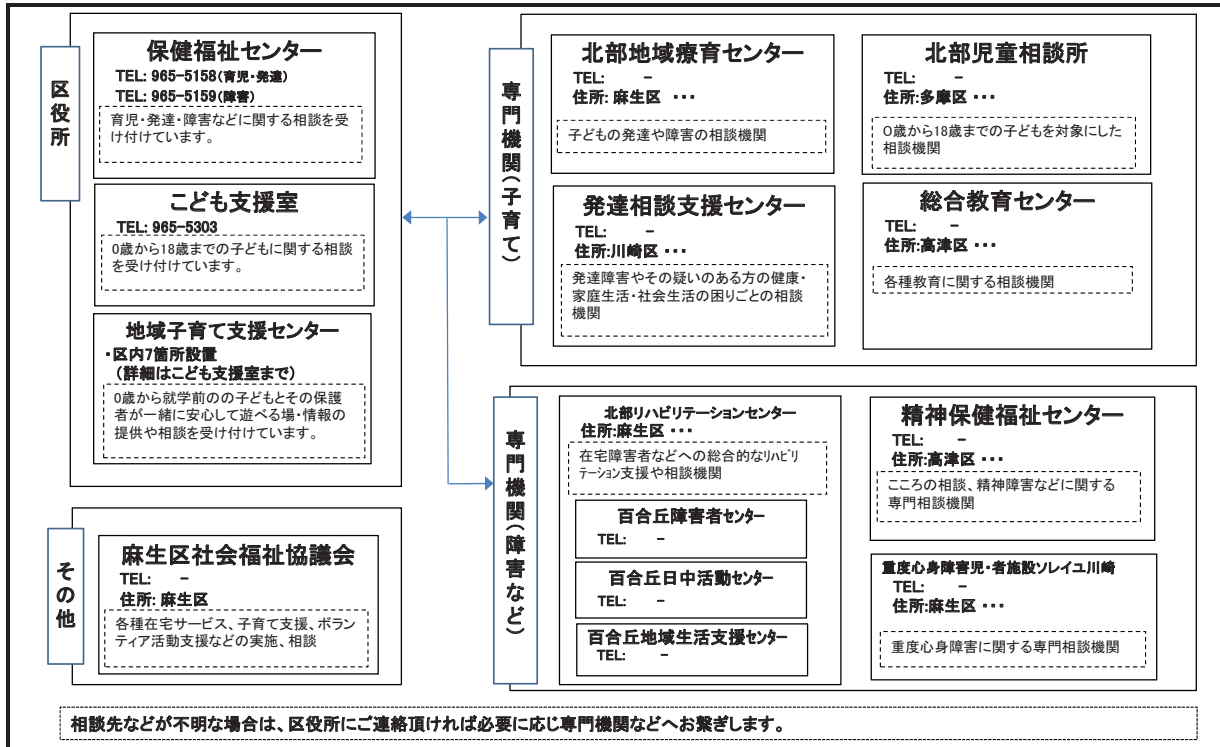
こんな時、こんなことでは	ここに相談してください																		
<ul style="list-style-type: none"> ♪ 最近、物忘れがひどく、先が心配だ。 ♪ 退院が決ったが、自宅での生活に不安がある。 ♪ 介護で心身とも疲れた。共倒れが心配。 ♪ 介護保険の申請をしたい。 ♪ 介護保険サービスなど、自分に利用できるサービスについて知りたい。 ♪ 緊急通報システム(ペンダントブザー)を使いたい。 ♪ お金の管理や契約などに自信なく不安だ。 ♪ 健康づくりのために、地域の体操教室や会食会などの集い、趣味活動の場を探している。 ◎ 介護予防・高齢者の権利・地域のネットワークづくり及び介護・福祉・健康・医療など何でも相談してください。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域包括支援センターの担当地区</th> <th>お問合せ先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>細山、金程、向原、栗平 2 丁目、栗木台、栗木、南黒川、黒川、はるひ野</td> <td>栗木台地域包括支援センター 電話 988-5160</td> </tr> <tr> <td>片平、白鳥、五力田、古沢、岡上、栗平 1 丁目</td> <td>片平地域包括支援センター 電話 986-4986</td> </tr> <tr> <td>白山、王禅寺西 5~8 丁目、上麻生、上麻生 5~7 丁目、下麻生 1 丁目</td> <td>柿生7ルナ地域包括支援センター 電話 989-5403</td> </tr> <tr> <td>王禅寺西 1~4 丁目、王禅寺東 1・2 丁目、上麻生 1~4 丁目</td> <td>新百合地域包括支援センター 電話 969-3388</td> </tr> <tr> <td>高石 4~6 丁目、百合丘、東百合丘</td> <td>百合丘地域包括支援センター 電話 959-6522</td> </tr> <tr> <td>王禅寺、虹ヶ丘、早野、王禅寺東 3~6 丁目、下麻生、下麻生 2・3 丁目</td> <td>虹の里地域包括支援センター 電話 986-4088</td> </tr> <tr> <td>(24 年 2 月開設) 多摩美、高石 1~3 丁目、万福寺、千代ヶ丘</td> <td>高石地域包括支援センター 電話 959-6020</td> </tr> <tr> <td>麻生区 社会福祉協議会「相談窓口」</td> <td>電話 952-5500</td> </tr> </tbody> </table>	地域包括支援センターの担当地区	お問合せ先	細山、金程、向原、栗平 2 丁目、栗木台、栗木、南黒川、黒川、はるひ野	栗木台地域包括支援センター 電話 988-5160	片平、白鳥、五力田、古沢、岡上、栗平 1 丁目	片平地域包括支援センター 電話 986-4986	白山、王禅寺西 5~8 丁目、上麻生、上麻生 5~7 丁目、下麻生 1 丁目	柿生7ルナ地域包括支援センター 電話 989-5403	王禅寺西 1~4 丁目、王禅寺東 1・2 丁目、上麻生 1~4 丁目	新百合地域包括支援センター 電話 969-3388	高石 4~6 丁目、百合丘、東百合丘	百合丘地域包括支援センター 電話 959-6522	王禅寺、虹ヶ丘、早野、王禅寺東 3~6 丁目、下麻生、下麻生 2・3 丁目	虹の里地域包括支援センター 電話 986-4088	(24 年 2 月開設) 多摩美、高石 1~3 丁目、万福寺、千代ヶ丘	高石地域包括支援センター 電話 959-6020	麻生区 社会福祉協議会「相談窓口」	電話 952-5500
地域包括支援センターの担当地区	お問合せ先																		
細山、金程、向原、栗平 2 丁目、栗木台、栗木、南黒川、黒川、はるひ野	栗木台地域包括支援センター 電話 988-5160																		
片平、白鳥、五力田、古沢、岡上、栗平 1 丁目	片平地域包括支援センター 電話 986-4986																		
白山、王禅寺西 5~8 丁目、上麻生、上麻生 5~7 丁目、下麻生 1 丁目	柿生7ルナ地域包括支援センター 電話 989-5403																		
王禅寺西 1~4 丁目、王禅寺東 1・2 丁目、上麻生 1~4 丁目	新百合地域包括支援センター 電話 969-3388																		
高石 4~6 丁目、百合丘、東百合丘	百合丘地域包括支援センター 電話 959-6522																		
王禅寺、虹ヶ丘、早野、王禅寺東 3~6 丁目、下麻生、下麻生 2・3 丁目	虹の里地域包括支援センター 電話 986-4088																		
(24 年 2 月開設) 多摩美、高石 1~3 丁目、万福寺、千代ヶ丘	高石地域包括支援センター 電話 959-6020																		
麻生区 社会福祉協議会「相談窓口」	電話 952-5500																		
<ul style="list-style-type: none"> ♪ 歩行が困難なので、ゴミ出しをしてほしい。 ♪ とくどき来て話し相手になってほしい。 ♪ とくどき安否確認の電話がほしい。 ♪ 風邪をひいて寝込んでいる、元気になるまで家事(庭掃除・窓ふきなど)をしてほしい。 ♪ ひとりでの散歩や外出するのが不安なので、付き添い・送迎・軽微な介助をしてほしい。 	<p>利用できる方(どなたでも)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者・高齢者のみ世帯 ・日中ひとりになる高齢者・障がい者・子育て中の方 ・一時的な支援を必要とされる方など 																		

♪ 身の上相談や生活相談をしたい。	→ 麻生老人福祉センター	電話 -
♪ 認知症の介護で困っている。	→ 川崎市認知症コールセンター	電話 -
♪ 災害時に避難支援をしてもらいたい。	→ 麻生区役所 高齢者支援課	電話 -
♪ 生活保護を受給したい。	→ 麻生区役所 地域保健福祉課	電話 -
♪ 怪我で歩行困難、車いすが欲しい。	→ 麻生区社会福祉協議会	電話 -
♪ 地域の民生委員さんは誰か知りたい。	→ 麻生区役所 地域保健福祉課	電話 -
♪ 成年後見制度を利用したい。福祉サービス・金銭管理サービスを利用したい。	→ 麻生区役所あんしんセンター (麻生区社会福祉協議会)	電話 -
♪ 薬やタバコなどを誤飲したとき。	→ 日本中毒センター	電話 -
♪ 日曜・祝日・年末年始に急患で医者にかかるにはどうしたらよいか。	→ 麻生休日急患診療所	電話 -
♪ 急病の時に、医療施設を紹介してほしい。	→ 救急医療情報センター	電話 -
♪ ご近所のおじいさんの虐待情報を耳にしたが、どこに連絡したらよいか。	→ 各地域包括支援センター	1 ページをご覧ください。

健康・生きがいづくり		
ボランティア活動の相談	活動内容	問合せ先
麻生区 社会福祉協議会	送迎運転・配食・介助・話し相手・家事手伝いなど福祉にかかわる多様な活動	電話 -
麻生市民交流館やまゆり	ボランティア活動を含む多様な活動団体等の紹介。ボランティアによるやまゆり(施設)及び自主企画事業の運営	電話 -
麻生市民館	ボランティア活動を含む様々な活動団体等の紹介	電話 -
麻生区学校支援センター	ボランティア活動を含む様々な活動団体等の紹介	電話 -
高齢者在宅サービス課(川崎市)	生涯現役支援 傾聴講座・自己啓発・情報誌「楽笑」	電話 -
川崎市 老人クラブ連合会	福祉人材バンク 人材を求める福祉の職場と福祉の仕事を希望する人の調整・仲介。希望する人の結びつけ	電話 -
	老人クラブ友愛訪問活動 病弱や寝たきり、ひとり暮らし高齢者を定期的に訪問、話し相手や生活・外出援助を行う	電話 -
総合企画局自治政策部(川崎市)	地域活動の手引書「いきいきシニアインフォメーション」	電話 -
	「かわさきシニア応援サイト」ホームページで紹介	電話 -

健康・憩い・学び・交流の場		
ボランティア活動の相談	活動内容	問合せ先
麻生老人福祉センター	健康・教養の向上、レクリエーション、各種相談	電話 -
ヨネッティ 王禅寺	温水プール、休養施設、トレーニング機器、レクリエーション、会議室	電話 -
麻生市民交流館やまゆり	自主企画・各種団体の主催事業	電話 -
麻生市民館	各種団体の主催事業	電話 -
公園 DE 健康づくり	王禅寺中央・千代ヶ丘第2・片平中村道・山口白山の各公園で 問合せ:地域保健福祉課	電話 -
わたしの町すこやか活動	虹ヶ丘・岡上・塔之越・東百合丘高石・麻生第3 民児の各地区等で健康や仲間づくりに関る31の活動を展開(平成22年度) 問合せ:高齢者支援課	電話 -
老人クラブ	健康体操・フォークダンス・ウォーキング・園芸大会・ダンス・舞踊・公園美化活動等 問合せ:高齢者支援課	電話 -
老人いこいの家 ~ふれあい・生きがい・ささえあいを目指した活動~	百合丘 電話 -	岡上 電話 -
	王禅寺 電話 -	白山 電話 -
	片平 電話 -	麻生 電話 -
	千代ヶ丘 電話 -	
高齢者の仕事紹介		
シルバー人材・いきいきセンター	仕事内容:除草・清掃・駐車・駐輪・放置自転車管理誘導・植木選定・家事業務ほか 問合せ:地域振興課	電話 -
シルバー人材センター	仕事内容:除草、チラシ配布、店頭販売、大工仕事、植木の手入れ、一般事務、家事援助ほか	電話 -
高齢者無料職業紹介所	臨時的・短期的及び軽易な仕事の求人・求職相談	電話 -

(2) 障害、子育てに関する主な相談機関一覧（麻生区）



3-6 「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」ヒアリング調査結果

番号	ヒアリング対象事業 (開催時期)	実施主体 (委託先)	活動の現状と課題 区民の関わり/地域の文化人との関係/課題等	麻生区というエリアのメリットとデメリット	麻生区(市)への要望、しんゆり芸術のまちのアイデアほか
1	麻生音楽祭 (6月～7月)	実行委員会	企画、準備、運営のすべてに区民が関わっており、ボランティアの育成も実施している。 小中音楽教員や昭和音楽大学も関わり、今年も新たにジャズ分野も新設した。 市民館の会場使用回数制限により、日程調整が困難 ・各団体の練習場所確保が困難 など	・合唱、会費サークルが多数存在し、団体間の連携が図りやすい。 ・継続開催により第2世代の参加も増えている。 など	・より多くの参加者を募るため、広報方法やタイムイングの工夫が必要 ・練習場所確保のため、既存施設の利用拡大や市民館の音響設備の改善を図って欲しい ・麻生フレイルによる吹奏楽とタイアップした演奏など、他のイベントや組織との連携を重要と考える。 など
2	KAWASAKIしんゆり 映画祭(野外上映会) (8月、10月)	NPO法人 KAWASAKI アーツ	・ボランティアの約4割、鑑賞者の36%が区内在住者で、日本映画大学ほか川崎市にゆかりのある映画関係者も数が多い ・アートセンターで良質な作品鑑賞が可能となったが、映画祭としてどう充実していくかが重要 ・恒常的な業務処理体制づくりやアルテリックしんゆりの映像部分との住み分けやPR方法に工夫が必要 など	・アートセンターを中心に、都心に行かなくても良質な作品鑑賞が可能で、日本映画大学・ワーナーマイカル・シネマズ・昭和音楽大学等のハートも揃っている。 ・新百合ヶ丘駅周辺の景観に関する規制が厳しく、開催時にお祭感を出す装飾が思うようにならない。 など	・芸術・文化のまちづくりを進める中、景観上の制約の一部見直しを検討してもらいたい。 ・映画祭として他のイベント(区民祭、オリブ祭など)と連携して展開している。 ・春のアルテリックしんゆりと秋の「映画祭」を二大イベントとして捉え年間を通じた展開していく。 など
3	川崎・しんゆり芸術祭 (アルテリックしんゆり) (主に、ゴールデンウィーク 期間)	実行委員会 (財団法人 川崎市 文化財団)	・実演者(プロ演奏)、観客、ボランティア(運営)の3面から区民が関わっている。 ・トップレベルの芸術団体チケット代から謝礼支払う循環システム ・新規観入者や若者層の取り込みが必要 ・市民主体を謳う芸術祭であるが、まだ不透明 ・街頭に目を向ける高齢者どう事業に結びつけるか。 など	・ボランティア意識が高く、自主性を持って参加する人が多い。 ・「芸術の力」からその必要性や感動共有ができており、芸術祭から「まちづくり」へ広がる可能性がある。 ・新百合ヶ丘駅周辺の景観に関する規制が厳しく、開催時にお祭感を演出する装飾が思うようにならない。 など	・「芸術のまちづくり」のコンセプトをしっかりと突き、継続性と財政面の担保が必要 ・町内会、行政、区民会議などそれぞれの役割を明示し、市民館等も含めて連携した展開を促したい。 ・アルテリックしんゆりが「芸術のまちづくり推進」のモデルケース(川崎No1)小田急沿線No1一区内、世界No1)とし、各芸術事業はそれぞれ自己目的・性格が異なるが、それぞれにあった広報活動、繋がりを作ることが必要 など
4	Kirara@アート しんゆり (11～2月)	実行委員会	・新百合ヶ丘駅周辺の店舗、商店街、企業、団体等からの協賛により運営を委嘱 ・期前開催のコンサート等の後援、広報などタイアップして展開を実施している。 ・区民や周辺施設との協働関係を築いている(昭和音楽大学や藤原歌劇団、千代田小合唱団等がイベント参加) ・協賛金による運営のため、景気悪化や震災の影響で予算額を確保できるか課題である。 など	・アートセンターや昭和音楽大学など周辺で開催されるイベントとの相乗効果や、学生や地元小学校との協働が可能 ・新百合ヶ丘駅周辺で活動する際の制約が多い。(出展、掲示など情報発信も条例等で制約されている) ・市民が集まれる場所(広場等)や交通網などの社会基盤が不十分など	・市(区)の施策の一環として、「芸術のまちづくり」に取り組んでもらいたい。 ・景観形成に関する条例の見直し等検討してもらいたい。 ・文化芸術の担当が設置または区窓口の一本化が必要ではないか。 ・町内会との連携についてはもう少し窓口の必要。 など
5	しんゆり・オリブ まつり (10月)	実行委員会	・新百合ヶ丘駅周辺の店舗、商店街、企業、団体等と連携して実施 ・区民に対し、オリブの苗木を配布している ・地域の芸術家等の出展によるアート市を開催 ・協賛金による運営予算確保の確保も課題 など	・新百合ヶ丘駅周辺にありオリブのあるところを中心にイベントを展開できる。 ・新百合ヶ丘駅周辺で活動する際の制約が多い。(出展、掲示など情報発信も条例等で制約されている) ・市民が集まれる場所(広場等)や交通網などの社会基盤が不十分など	・市(区)の施策の一環として、「芸術のまちづくり」に取り組んでもらいたい。 ・文化芸術の担当を区役所に再設置すべきではないか。 ・オリブまつりで、その他のイベント全体を繋ぎ、連携した広報と地域活性化に繋げたい。 など
6	あさお芸術のまち コンサート(通年)	実行委員会	・実行委員会を中心に企画・準備・運営がなされ、パレード・野外ステージ・各種展示部分で、区内の団体・協会・クラブの協力による。 ・芸術分野の専門家との関わりはあまりない。 ・会場が区役所・市民館のため、多くの区民に楽しんでもらうには限界がある。 ・当日の運営や役割分担についての工夫が必要。	・区内全域で鑑賞参加希望者が多く、音楽に關心のある人が多く、やりがいを持って活動することができる。 ・区内全域で鑑賞参加希望者が多く、音楽に關心のある人が多く、やりがいを持って活動することができる。	・「芸術のまちあさお」の今後の方向性を明確にして欲しい。子どもが夢を持つ足場を固め、音楽を通じた区民の一体感に繋げてほしい。 ・練習場所不足の解消に、学校や市・区施設開放を検討してほしい。 ・映画祭やアートセンターとはすでに連携した取り組みをしているが、更なる展開を図るため、関係する各事業の実行委員会メンバーを集めて合同実行委員会を開催し連携を図ってほしい。 ・「音楽のまち麻生」の更なる発展には地域活動の要である町内会との連携が重要 など
7	あさお区民まつり (10月)	実行委員会	・実行委員会を中心に企画・準備・運営がなされ、パレード・野外ステージ・各種展示部分で、区内の団体・協会・クラブの協力による。 ・芸術分野の専門家との関わりはあまりない。 ・会場が区役所・市民館のため、多くの区民に楽しんでもらうには限界がある。 ・当日の運営や役割分担についての工夫が必要。	・特になし	・もっと区民が中心となって進められれば良いのだが、区職員へ負担をかけるようになっていく部分がある ・引き継ぎ区(行政)からの同程度の支援をお願いしたい。 ・すでに、オリブまつり(アート市)など一部連携をしている。 ・周辺施設とも連携した企画・イベントを実施することで、より多くの区民参加が期待でき、盛り上がるのではないかと考える。
8	あさお福祉まつり (11月)	実行委員会 (麻生区社会 福祉協議会)	・実行委員会が運営全般の中心を担い、各種展示・出展は区内で活躍する社会福祉系グループ、当事者団体等が、主体的に参加。 ・各団体の出展参加は無料で開催店の収入は各活動員に還元。 ・予算により、各団体の無料参加による運営が難しくなっている。 ・参加団体とそのプレゼン内容が固定化しつつある。	・地区と比べて福祉施設や団体が、区民の社会福祉に対する関心が高い、という特性が、大きなイベントを行う助けとなる。	・事業予算の確保(委託料減額)をお願いしたい。 ・平成23年度に開催予定の、震災の復興支援チャリティイベントに ついて、昭和音楽大学同窓会(原浜支部)のボランティアと連携して進めている。今後の新たな連携と展開(福祉と音楽の連携)が期待される。

*ヒアリングは、各事業(イベント)の取り組み母体(主に実行委員会)に対して行っています。

*上記は、各ヒアリング報告書から抜粋したもので、各ヒアリング団体に報告内容の確認済みです。

3-7 エコ啓発用パンフレット「エコのまち麻生」配布先一覧

学校関係配布先	配布数
川崎市立長沢小学校	140
川崎市立西生田小学校 5年生	150
川崎市立千代ヶ丘小学校	190
川崎市立金程小学校	80
川崎市立百合丘小学校 5,6年生	147
川崎市立南百合丘小学校 5年生	135
川崎市立王禅寺中央小学校 5年生	110
川崎市立真福寺小学校 5年生	74
川崎市立片平小学校 6年生	120
川崎市立はるひ野小学校 4,5年生	270
川崎市立西生田中学校 1年生	210
川崎市立麻生中学校 職員	35
川崎市立はるひ野中学校 全学年+職員	255
合計	1,916

配布先	配布数
麻生区役所資料コーナー	30
柿生連絡所	30
麻生図書館	30
麻生図書館柿生分館	20
麻生市民館	30
麻生市民館岡上分館	20
企画課窓口	200
区民会議ラック	30
各種会議	450
その他	80
合計	920

2012.4 配布合計	2,836
-------------	-------

3-8 「麻生区生ごみアンケート」回収先一覧

回収区分	団体名	回収枚数
1	・町会・自治会（栗木町内会、早野町内会、万福寺町内会、はるひ野町内会、千代ヶ丘自治会、千代ヶ丘町会、サンラフレ百合ヶ丘自治会、柿生駅前町内会、新百合ヶ丘自治会、多摩美町会、細山町会、マイシティ新ゆり町内会、岡上町内会、下麻生自治会、真福寺町内会、百合丘2丁目町会、百合丘3丁目町会、東百合丘町会、千代ヶ丘中ノ間自治会、金程富士見）	453
2	・区役所や保健所や市民館内での委員会や集まりの中で（区民会議全体会、麻生区クールアース推進委員会、麻生区廃棄物減量指導員連絡協議会、地球温暖化推進委員会、食生活改善委員会、離乳食教室参加者、市民館企画親子料理教室） ・市民活動や団体の集まりの中で（はぐるまの会、サンキン会、さんさん会、こども会、コープかながわ生ごみリサイクル講習会、麻生区地域教育会議、田園調布学園大学の麻生区在住者）	292
3	・直接対面で（区役所ロビー、ゆりストア王禅寺店、コープかながわ上麻生店）	220
4	・区役所のアンケート箱、企画課に持参、FAX、メール	25
5	・区民会議委員による回収分	175
	合計	1165

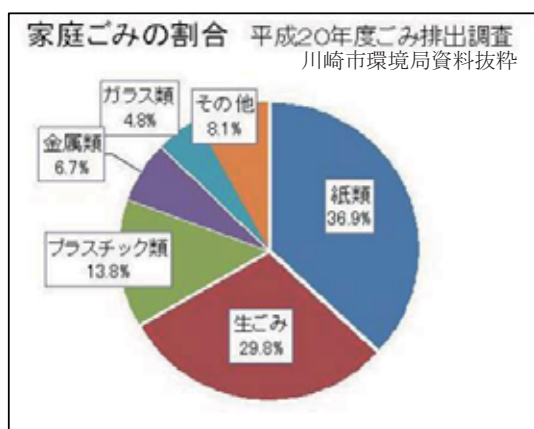
3-9 麻生区生ごみアンケート結果報告

2011.09 第3期麻生区区民会議環境・緑化部会

「地域の課題を、区民が主体となって発見し、その課題の解決に向けた取り組みを調査・審議する」ために平成18年に区民会議が設置されました。第2期区民会議で「誰もが身近にできるエコの取組」ということで「エコのまち麻生の推進・地産地消と生ごみリサイクル」が審議されました。第3期区民会議の環境・緑化部会では、これを継承・発展させ「循環型のまち・生ごみリサイクル」をテーマにあげ調査・審議などを進めています。

地球規模での環境問題が進んでいる現在、地球の資源を大切に一人一人が環境に負荷をかける生活をする必要があります。

家庭から出されるごみのうち紙類、プラスチック類は川崎市による分別回収が進みつつありますが、1/3を占める生ごみは普通ごみとして焼却処分されています。



参考) 川崎市では年間約33万トンの家庭系ごみを約157億円という費用をかけて処理しています。これは1人年間11,265円になります。

これを減らすことにより、普通ごみの回収、焼却にかかわるエネルギーやCO₂や経費の削減になることは言うまでもありません。廃棄物の減量と言うに留まらず、普通ごみの中から生ごみがなくなることで、ごみ集積所のカラス被害も減り、美化にもつながります。生ごみを捨てるときに必要なレジ袋も不要となりマイバッグ持参者が増えるかもしれません。

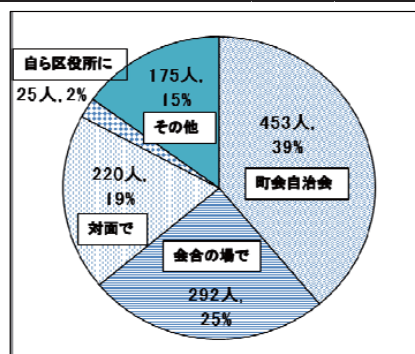
生ごみは微生物が分解して堆肥となります。堆肥で育った菌は土を活性化し、土壌菌がたくさんいる土で育った野菜は生命力をたくさん持っています。その野菜を食べてまた土にもどす。工夫次第で、土から生まれたものを土に還して資源の循環につなげることができます。これを体験する、小学校や保育園などでの取組も生まれてきています。また、お互いの堆肥化を相談しあうコミュニティも形成され、大量にモニターを募集して生ごみの堆肥化を進めた町ではガーデニングをする人が増えて街の緑化も進んだそうです。

2011年5月25日から7月末に、麻生区民の方々が生ごみについてどのように思っているかアンケート調査を行い、結果をまとめました。誰もが毎日出す生ごみを通して身近なエコに取り組めるよう、区民会議ではアンケートや区民会議フォーラムでのご意見をもとに審議を深め、モデル事業実施、提言へとつなげていきたいと思ひます。

- アンケート実施期間:2011/5/25~7/31
- 対象:麻生区在住者
- 回収:50グループ 1,165人(内記名者310名)

下記5つの方法でアンケートを実施しました。

アンケート参加者内訳	グループ	人数	全体に占める割合
区分1:町会自治会	19	453人	39%
区分2:活動団体の会合の場で実施	15	292人	25%
区分3:区役所ロビーやスーパーなどで対面実施	3	220人	19%
区分4:FAX、web、ポスト 区役所に提出分	3	25人	2%
区分5:委員からの依頼などその他	10	175人	15%
合計	50	1165人	100%



「麻生区生ごみアンケート」

平成 23 年 5 月
第 3 期麻生区区民会議

ご家庭での生ごみの処理について、ご質問いたします。(今回のアンケートは職場や施設を除かせていただきました。)

該当する番号にしるし(○かし点か■)をしてください

【A】 1. 生ごみの減量について工夫していますか？【複数回答可】

- ① 工夫していない ② 余分なものを買わない
③ 余分に作らない、食べ残さないようにする ④ エコクッキング(調理くずを少なく、皮まで食べる)
⑤ 水切りや、野菜くずを干すなど ⑥ その他[具体的に：]

【A】 2. 生ごみをリサイクルしていますか？ または リサイクルしたことがありますか？

- ① したことがない ② 今はしていないが、したことがある[方法：]
[今していない理由：]
③ 一部リサイクルし一部普通ごみの回収に出している ④ 全てリサイクルし、回収には出していない

【A】 3. 家庭でできる生ごみリサイクルの方法としては前述行先のような堆肥化があります。生ごみの堆肥化をしてみたいですか？ または堆肥化を続けるためには、どんな条件があればできそうですか？【2つまで可】

- ① 方法が簡単なら ② 時間がかからなければ ③ 場所があれば(集合住宅でも可能なら)
④ 臭わないなら ⑤ 費用がかからないなら ⑥ リサイクルしてできた堆肥の行先があれば
⑦ その他[] ⑧ わからない
⑨ 堆肥化(リサイクル)したくない[理由：]

◆ありがとうございました。【A】 2. で③か④(リサイクルしている)と答えた方は以下【B】にもお答え下さい。

生ごみリサイクルしている方への設問です

【B】 1. あなたのしている生ごみリサイクルの方法は？【複数回答可】

- ① 庭に直接埋めている ② 電動生ごみ処理機を使用 ③ コンポスト化容器を使用
④ 密閉容器を使用 ⑤ ダンボールコンポストを使用 ⑥ その他[]

【B】 2. あなたのつくった生ごみ堆肥を回収してほしいですか？

- ① 使うので、回収不要 ② 完熟堆肥を回収して有効利用してほしい
③ 電動処理機や密閉容器で処理したものを回収し、2次処理して完熟堆肥を作り有効利用してほしい

【B】 3. 生ごみリサイクルをしていて何かお困りのことはありますか？

- ① ある[具体的に：]

◆生ごみについてのご意見やフォーラムへの希望などありましたら、裏面にお書きください。

◆アンケートの集計結果は広報、ホームページ、秋に行うフォーラムなどで発表します。

◆「生ごみフォーラム」についてお知らせが必要な方は、連絡先をお書き下さい。

(個人情報はお知らせのみに使用致します)

お名前 _____

FAX番号 _____

FAXを使用しない方はご住所 〒 _____

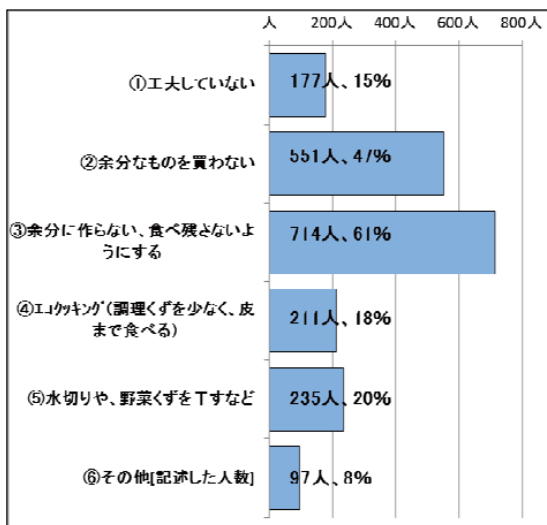
◆メールでの連絡をご希望される場合は「フォーラム通知依頼」という件名で 73kikaku@city.kawasaki.jp(企画課)に発信ください。

以下 設問ごとに見ていきます。

【A】1. 生ごみの減量について工夫していますか？【複数回答可】

※%算出は各回答人数/総回答者数

①工夫していない	177人	15%
②余分なものを買わない	551人	47%
③余分に作らない、食べ残さないようにする	714人	61%
④エコクッキング(調理くずを少なく、皮まで食べる)	211人	18%
⑤水切りや、野菜くずを干すなど	235人	20%
⑥その他[記述した人数]	97人	8%



【その他 97 人の記述をみると】

・土に埋める。・庭のコンポスト化容器。・堆肥と一緒にまぜて使う。・ダンボールコンポスト。・EM処理している。・畑にまく。・電動生ごみ処理機など「リサイクル(堆肥化)している」という工夫を書いた方が61人(5%)もありました。堆肥化も立派な減量の工夫で、回答選択肢の1つに取り上げるべきでした。

「冷蔵庫にあるものを見てメモして行き、それ以外は買わない。」など47%の方が「余分なものを買わない」工夫をしています。「余分に作らない、残さない」が61%と一番多く、「残り物は猫にあげる」という方もいました。

「くず野菜を出さない、皮をむく時は出来るだけ薄くむく。」という一方「放射能の影響があるので皮を厚めにむくようになった。」という方もいました。

235人が「水切りの工夫」をしていて、具体的に「新聞紙や紙に包んで捨てる。・ネット袋で水切りし

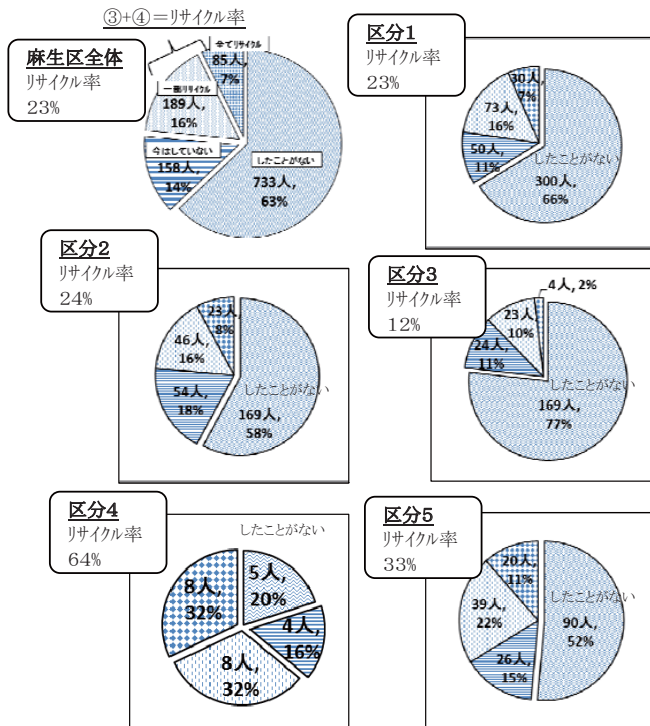
てから出す。・干して減量。・シンクのゴミ入れは水分を含むので使わず、古新聞で作った折箱の上で、野菜の皮をむいたりする。・雑草や切った小枝など干して出す。」と書かれていました。

減量ではありませんが、排水を汚さない工夫として、「お皿の汚れを新聞紙等でふきとる。」「スープの残りはぼろきれをビニール袋に入れてすわせる」がありました。

「生ごみなんて出さないよ。」「料理しなくなったし・・・」という方もおり、177人15%の方が工夫していないと答えられました。また、対面でのアンケート調査では、「ごみが出ない、興味ない」以外の方は自信をもって「もちろん、減量の工夫しているよ!」と誇らしげに答えられていました。その様子からも、「生ごみ減量がエコ活動につながっている」ということは浸透しているようでした。

【A】2. 生ごみをリサイクルしていますか？ またはリサイクルしたことがありますか？

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	麻生区全体
①したことがない	300人	169人	169人	5人	90人	733人 63%
②今はしていないが、したことがある	50人	54人	24人	4人	26人	158人 14%
③一部リサイクル一部普通ごみの回収に出す	73人	46人	23人	8人	39人	189人 16%
④全てリサイクルし、回収には出していない	30人	23人	4人	8人	20人	85人 7%



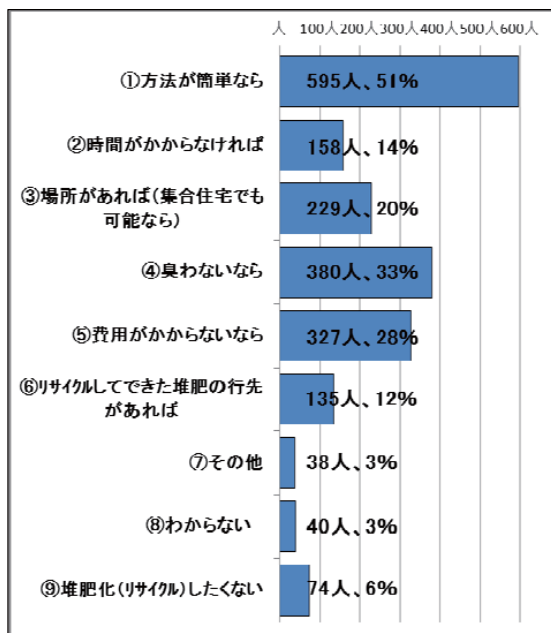
アンケートを取った区分によって、リサイクル率(生ごみの一部または全てをリサイクルしている方③+④の割合)は様々でした。

自ら区役所に提出した区分4では、リサイクル率が64%と高く、他の区分とは逆の結果になっていました。スーパーのレジ前などでアンケート調査を行なった区分3ではリサイクル率が12%でした。これが区全体の取組状況を表していると推測されます。

【A】3. 生ごみの堆肥化をしてみたいですか？

または堆肥化を続けるためには、どんな条件があればできそうですか？【2つまで可】

※%算出は各回答人数/総回答者数		
①方法が簡単なら	595人	51%
②時間がかからないならば	158人	14%
③場所があれば(集合住宅でも可能なら)	229人	20%
④臭わないなら	380人	33%
⑤費用がかからないなら	327人	28%
⑥リサイクルしてできた堆肥の行先があれば	135人	12%
⑦その他	38人	3%
⑧わからない	40人	3%
⑨堆肥化(リサイクル)したくない	74人	6%



生ごみを堆肥化するのに必要な条件として、半数の方が「簡単なら」を挙げています。その他の自由記述にも「・面倒でなければ。・足腰が弱っても出来るなら。・すごく簡単なら。」と書かれていて、簡単

でなければ普及が難しいことが、伺われます。「臭わないなら」、「費用がかからないなら」も1/3の方が選んでいて重要な要素と言えます。

【その他 38 人の記述をみると】

「リサイクルしてできた堆肥の行先があれば。これさえクリアすれば積極的にしたいと思う。」「友達が堆肥が余っていると云っているの、システムをつくって欲しい。」という⑥に関連する記述もありました。

「虫がわからないなら」と記述した方が5人。これは回答選択肢に入れるべき条件でした。(反省点)

「行政が分別回収するなら分別する」「分別のルールがあれば。」などシステムへの要望を記入されている方が6人。(ご意見は川崎市に伝えます。)

「ひとり暮らしなので届けてもらえれば。」「見た目がいかにもなのは置きたくない。」とあり、堆肥化も”おしゃれに、スマートに、簡単に！”が重要ポイントと言えます。

【堆肥化(リサイクル)したくない 74 人の理由記述】

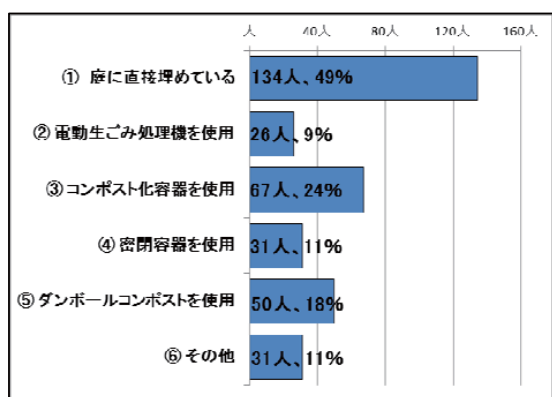
「①継続が困難。大変、面倒 (10 人)。重いものは持てない。体力がない。年齢(7 人)」「②時間がない。時間的余裕。」「③集合住宅、マンション(8 人)。台所が2階なので。自宅の裏庭は隣家の南側。」「④臭いが心配(4 人)」「⑥堆肥の活用がない。自分のところでは使う予定がないので、積極的にリサイクルしたいとは思わない。」「虫の発生が心配(3 人)。ネズミが来ないか心配。少々ハエが増えるような気がする。カラスの被害。犬を飼っているの。」という記述でした。つまりしたくない理由は堆肥化するのに必要な条件と同じような結果でした。

そのほかには、「生ごみの減量に気を付けているから(4 人)」「高齢または1人暮らしで生ごみが出ない、少ないから(5 人)」「ベランダに物を置きたくない。購入までは考えない(3 人)。燃やしたほうがよい。興味がない(3 人)」「自分はしたくないが、管理組合など住民の分をまとめてすると良い。」などの記述がありました。

★以下設問 B は 現在生ごみリサイクルしている
と答えた 23%の 274 人を対象に答えていただきまし
た。

**【B】1. あなたのしている生ごみリサイクルの方法
は？【複数回答可】**

※%算出は各回答人数/リサイクル者数		
① 庭に直接埋めている	134人	49%
② 電動生ごみ処理機を使用	26人	9%
③ コンポスト化容器を使用	67人	24%
④ 密閉容器を使用	31人	11%
⑤ ダンボールコンポストを使用	50人	18%
⑥ その他	31人	11%



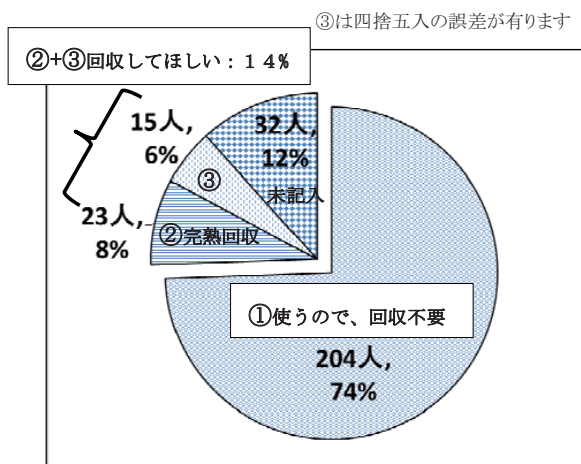
【その他31人の記述をみると】

「庭、畑、堆肥場に積む、入れる(8人)。」
「ポリ袋、ふたつきポリバケツを使って(3人)。」
「植木鉢に埋める。木箱に基材。落葉堆肥に混入
する。腐葉土とまぜて。」と様々工夫されているよう
です。

庭に直接埋めている方が半数の 134 人、コンポ
スト化容器 67 人、畑や堆肥場 8 人を合わせると 209
人の方が 地面(土)を利用した方法で取り組まれて
おり、麻生区の地域性が伺われます。

**【B】2. あなたのつくった生ごみ堆肥を回収してほ
しいですか？**

※%算出は各回答人数/リサイクル者数		
① 使うので、回収不要	204人	74%
② 完熟堆肥を回収して有効利用してほしい	23人	8%
③ 回収し2次処理して有効利用してほしい	15人	5%
④ 未記入	32人	12%



「使うので回収不要」という回答74%もありました。こ
れは堆肥化の方法として庭に直接埋めている方が
49%、コンポスト化容器が 24%[合計 73%]ということから
考えても、「堆肥を使う人、使える人が生ごみリサイク
ルをしている」傾向が見られます。

一方、ダンボールコンポスト 50 人中 23 人(46%)が「②
の完熟堆肥を有効利用してほしい」と回答し、電動
処理機と密閉容器のあわせて 57 人中 15 人(26%)が
「③の1次生成物を回収して2次生成物を有効活用
してほしい」と答えたとも考えられます。

参考) 麻生区でダンボールコンポストを実践して
いる方は297人で、そのうちの254人(86%)が戸建て
にお住まいでした。(「環境を考え行動する会」2011
年8月末の実践者登録資料より)



土に直接



電動生ごみ処理



コンポ スト化容器



密閉容器



ダンボールコンポ スト



木枠コンポ スト

【B】3. 生ごみリサイクルをしていて何かお困りのことはありますか？【自由記述:71人】

★手間、やり方

・畑に運ぶのが大変。・野菜くずを干すなど手数がかかる。・庭の乾いた土と米ぬかを混ぜ合わせて手間がかかる、何か良い方法を教えて欲しい。
・電動処理機はかなり時間がかかる。・生ごみを細かくするのが面倒。・庭に穴を掘るのがたいへん。
・EM菌の入手が面倒。・ダンボールの手ごろがないので、店頭で買えると良い。・基材を買うのが面倒、生協などで注文配達できるといい。

★場所

・工夫にもよりますが場所がない。

★臭い

・庭に直接埋めるため、臭うときがある。・電動生ごみ処理機の容量が小さくて注意して扱わないと近隣に臭いで迷惑をかけてしまう。・ふたを開けたとき臭う。・密閉容器の時、臭いが出て困った。・生ごみに糠を入れて埋めていますが臭いが気になる。
・ダンボールで行っていたが臭いと虫でやめた。

★虫、小動物

・「小ばえが発生、虫がつく、夏にうじがわく(27人)」「猫や鳥(カラス)に掘り返される(11人)」。・ねずみが出てくる。・ハクビシンが掘り出す。
・コンポスト化容器で移動したら、多量のゴキブリが出てきて鳥肌がたった。

★費用

・電動処理機なので電気代がかかる。・費用をもっと補助してほしい。・基材の購入が何処でもできて、お安く手に入るといいと思います。

★堆肥の行先

・電動処理機で処理しているが、マンションのため家で堆肥として使えない。

●OK(困っていない)

・庭の草木や草花に利用しているので困っていない。・良いことをしていると自己満足。・集合住宅ですと庭がなく生ごみを土に返すことが出来なく残念に思っています。でも20数年、病気の時以外

は生ごみは出していません。屋上で続けている家庭菜園で肥料として使っています。おかげさまで新鮮な安全な野菜を口に入れる幸せを感じています。

・ダンボールコンポストを始めました。とてもいいと感じています。普通ごみに出すごみの量が1/3減りました。以前は、生ごみを入れるビニール袋が必要でしたが、不要になりました。堆肥となったら花壇に入れます。(楽しみです)

・生ごみてコツさえわかれば簡単に分解でき、一般ごみの回収に出すより楽で、台所から生ごみがなくなり快適です。不思議に臭わなくて肥料を買わなくて済むし、一石三鳥です。

★行政へ

・効率的に大量に生ごみをリサイクルする方法を考えて欲しい。・生ごみの活用方法があること等行方を発表してほしい。・台所から社会への発信(生ごみは社会の窓と思う)オープンしてほしい。
・ドイツ等の先進国では、集合住宅独自の生ごみ処理場を作り、住人の方がバケツで生ごみを処理場に運び、肥料化していると聞きました。日本の集合住宅でも、このようなシステムができることを願っています。まず、住居数の多い公営の集合住宅から、生ごみ処理場の設置を義務付けるよう行政の方で指導して頂けるといいなと思います。生ごみは生活の場と近い場所で処理しないと衛生上の問題も発生しますよね。

★その他

・水分を多く含む生ごみや草木のごみを燃やすためには大変なエネルギーが必要と思われるので、家庭で始めやすい方法があればご指導いただきたい。・生魚の頭やハラワタの処理⇒現在、庭に穴を掘り埋め込み。・生ごみを回収に出すことに「ザイアク」感。・町田市のボカシを使ったグループに入り生ごみ処理を行なっています。・取り出しを忘れると菌が死んで、補充が必要になること。・生ごみのことも大切ですが、油や合成洗剤についても勉強していきたいです。(川の汚染や海の汚染について)。・貝殻等堆肥にできないものもある。・生ごみ品質のチェック等。・捨てたごみから野菜が生え

てくる。・2次処理はどうするのか。・特にありませんが、2人なので生ごみ少量のため発酵が遅い。・1つのコンポストでは、すぐにいっぱいになってしまう。

※どの方法でも臭いで困っている方がいました。一方「生ごみってコツさえわかれば簡単…～…一石三鳥」という方もいました。”簡単な方法と成功のこつなどを普及することが不可欠”と思われます。

[A]2. 生ごみをリサイクルしたことがありますか？ の回答 ②今はしていないが、したことがある を選んだ方 158 人の今リサイクルしていない理由

★面倒、手間、時間

・庭に埋めていたが年をとって面倒になった。・いつしか……。・面倒だから(9人:方法は密閉2、コンポスト化容器2、穴掘り1、電動1、不明3)。
・不在がち、忙しいなど(5人)。・機具で焼くと時間がかかりすぎたため。・忙しくて習慣にならず、かきまわすことをせずじまいに終わった。

★場所

・畑がある長野県の実家から移った、田舎から移った、畑がなくなった(6人)。・マンションになった(9人)。・庭がなくなった(2人)。・設置場所がない、埋める場所がなくなった(5人)。・木の根に毎日たくさん埋められない。

★臭い

・臭いが出る(9人:方法は密閉2、穴掘り3、電動2、ダンボール1、不明1)。

★虫、小動物

・ハエ、虫(11人:方法はコンポスト化容器3、穴掘り2、電動1、ダンボール3、不明2)。・ネコがほじくりかえす。

★費用

・密閉容器で分解する酵素、EM菌が入手出来なくなった(2人)。・電動生ごみ処理機でバイオチップの購入等で年間1万円位の経費が必要だった。

★堆肥の行先

・植木の肥料にしていたが植木が少なくなった。

・密閉容器、ダンボールコンポストでできあがったものを使い切れない(2人)。

★失敗

・失敗した、上手にできなかった(5人:密閉1、コンポスト化容器3、不明1)。・勉強が足りなかったのか、リサイクラーで思ったようにリサイクルできなかった。

★その他

・大量に出ない、生ごみが少なくなった(3人)。
・庭に置いたコンポストまで居間を通して外に出なければならなかった。台所など身近な場所で出来ればよかった。入れるだけで微生物作用で土になるというのが高価だがあるらしいと聞いた。いろんな堆肥化があると思うので、いろいろ教えてもらえれば、自分にあったものを選択できる。

★他にも教えて欲しいや取組み上の個別質問が5人、ミックスペーパーの回収など生ごみ以外の記述が4名いました。

《《アンケート結果から読み取れたこと》》

堆肥化するための条件も堆肥化したくない理由もやめた理由も「簡単・手間(面倒)、臭い、虫、費用、場所、時間」が共通に言い尽くされていました。以前はして今していない方は、マンションに転居、畑がなくなったなど住居場所の問題が多く、実践中の方は場所や費用を既に解決して取り組んでいるので、臭いや虫を問題として取り上げていました。

一方「問題なし。いい方法。楽しい。」と書いた方や何も書かずに堆肥化している203名の方がいらっしやるのも重要です。堆肥の回収は不要という回答が74%ということからも、現在は堆肥を使う人、使える人がリサイクルに取り組んでいるともいえます。

生ごみを土に還すことの意義や有効性、マンションでもできる簡単な方法を伝えられるよう広報し、堆肥の使い道を仲介すること、虫と臭いの問題を軽減するこつを伝授しあうことが、生ごみリサイクルを広めることにつながると思います。

3-10 電動生ごみ処理機一次生成物回収についての 聞き取り調査

2011.10.～ 区民会議環境緑化部会

●仙台市<人口:105万人> 022-214-8229

- ・電動処理機への助成金 60%(上限3万円)
平成20年有料化の時4,000件(22年は300件)に助成
ダンボール出前講座(活動団体が行う)の受講者にはモニターとして無料配布
- ・乾燥式の1次生成物は 野菜市(5区で実施:開催方法は区によって異なる)で1キロ100円相当の野菜と交換し、環境事業所などに持ち込んだ場合は1キロでスタンプ1個を付与する。
(スタンプn個でゴミ袋などと交換するシステム)
- ・野菜市での実績:5月2区で408kg、6月4区で239kg
市の予算:野菜代+業務委託代
(野菜市実行委員会(農家)に業務委託して1次生成物から堆肥を作ってもらっている)

●小金井市<人口:12万人> 042-387-9835

- ・電動処理機への助成金 80%(上限5万円) 助成金の年間予算1,000万円
今までの累積で合計3,000台の電動処理機に助成
年2回コンポスト化容器や密閉バケツの教室を開催し、受講者に容器やぼかしを無料配布。
その教室の中で、ダンボールコンポストのやり方にも触れたりする
(ぼかしは常時1回2袋無料配布)(小金井市は堆肥化協会の指導を受けている)
- ・乾燥式の1次生成物は13拠点で回収(保健センター、公民館、体育館など開館中いつでも)
実績160kg/月くらい
- ・週1回各戸に市職員が取りに行き(現在の申込み760件)、希望者に堆肥1^キあげる。(専用バケツ)
集めた1次生成物を堆肥化実験施設で堆肥にしている。⇒市民に無料配布

●鎌倉市<人口:17万人> 046-723-3000

- ・電動処理機への助成金 75%(電動以外は90%)(上限4万円)
22年度は631台(内木枠コンポストのキエーロは41台)に助成
- ・剪定枝を普通ごみの時、分別して出し、委託業者が回収し、堆肥化する。
- ・市内8か所にできた堆肥(+シャベルと袋)を山積みしておき、必要な人が勝手に持ち帰る。
1人3袋までという制限だが、1週間でなくなる。大量に使う人は堆肥工場と直接契約(配達)
- ・電動生ごみ処理機にはバイオ式、消滅式、乾燥式があり、鎌倉市は消滅式:ゼロボックスなどを奨励しているため、1次生成物などは発生しないため、集めるの必要性を感じていない。

注)堆肥化協会談:武蔵野市は電動処理機への補助金制度をやめた。「生ごみは廃棄物ではなく、資源である」という解釈からせつかくの資源を消滅させていいのだろうか?という意見もあり、消滅型ではなく、バイオ式や乾燥式を推奨する自治体も多い。

●八王子市<人口:58万人> 042-620-7256

- ・電動処理機への助成金 50%(上限2万円)
- ・ごみ減量特集号「はちおうじ」を年2回発行⇒区民会議ではこの広報誌のわかりやすさに注目

3-11 「生ごみリサイクルモデル事業」事業計画書

第3期麻生区区民会議

1 経過及び目的

- ・ 本区民会議で実施した生ごみアンケートでは、生ごみリサイクルしている方の半数が「庭に埋めている」という方で、堆肥回収不要と答えた方が 75%であった。また、「マンションだから生ごみリサイクルしても堆肥の使い道がない。」と答えた方も多くいた。
- ・ この取組を広げるためには、自ら活用するだけでなく「地域で有効活用できるなら、堆肥化する。」というインセンティブがあれば、リサイクルする方(層)を広げられることにもつながると考えられる。
- ・ 一方、肥料を活用している農地や公共花壇は麻生区内に多く、それらの野菜や花の生育に肥料は不可欠であるため、使いきれない方から必要な方へ、地域内で資源循環ができ、新しいコミュニティが生まれるシステムづくりが期待できる。
- ・ モデル事業を通じた実証実験することで、乾燥生ごみ等の回収量や使い切れない方からの意見等をまとめていく。さらに、これまでの区民会議の取り組みも併せて、生ごみリサイクル推進に向けた区長への報告につなげていくことを目的とする。

2 事業計画

実施主体	第3期麻生区区民会議（事務局:麻生区役所企画課）
回収場所	麻生区役所 2階ロビー（責任者:企画課長）
実施期間	平成23年12月～平成24年3月（計4回）毎月第4土曜日 9:00～11:00
回収対象物	乾燥生ごみ【一次生成物】、生ごみリサイクル堆肥(3月のみ)
発生場所	区内各家庭
発生量見込み(回収量)	・乾燥生ごみ 17.5kg (内訳:12月 2.5kg、1月～3月 各月 5.0kg) ・生ごみリサイクル堆肥 40.0kg (3月のみ) 合計 57.5kg
利用先	社会福祉法人はぐるまの会 ・堆肥場 ……麻生区片平 1848-5(生活介護事業所「はぐるま工房」) ・利用場所 …… 同上
堆肥場の形状など	・今回のモデル事業用に3方を囲った堆肥場を作成 大きさ【奥行1m×間口2m×高さ0.8m】を予定。上部をシートで覆う。 ・モデル事業終了後は、堆肥場は撤去する。
堆肥化方法など	・回収した乾燥生ごみ、生ごみ堆肥全量を「はぐるま工房」堆肥場にて完熟堆肥にする。 ・種堆肥との混合を第一回目のみ実施。その後は回収した一次生成物、生ごみリサイクル堆肥のみを投入予定。 ・種堆肥は、はぐるま工房所有のダンボールコンポスト完熟堆肥を活用。 ・各月回収した一次生成物を追加投入し、全てが完熟堆肥化された段階で使用する。 ・堆肥化過程において落ち葉の使用はない。 ・堆肥化後の堆肥量は、約20kgを想定。
活用方法	・できた完熟堆肥は、作業所で花苗用として活用し、区民などへの販売用に利用する。 ・残った場合については、作業所が借地している農地で使用。
運搬方法	・袋に入れた状態で各家庭から区役所ロビーに搬入。 ・受付後、袋に入れた状態のままポリバケツに移し、はぐるま工房の車両で運搬。
広報方法	・市政だより区版1月号に掲載 ・チラシの配布(別紙参照) ・区役所ホームページへの掲載 など
その他	・回収した際の袋については、はぐるま工房にて適正に処理する。 ・本事業結果は、第3期区民会議報告書の中に取りまとめ区長あてに提出する。 ・近隣住民から苦情があった場合についてはモデル事業を中止するものとする。

<問合せ先>麻生区役所企画課

3-12 麻生区の緑の現状や管理状況などについて

麻生区の公園緑地

平成24年3月31日現在

公園種別	箇所数	面積(ha)	備考	地域協働取組状況					
				公園管理 運営協議会	公園緑地 愛護会	里山保全管理 活動協定	緑の活動団体	公園管理者 (直営)	公園管理者 (業者委託)
総合公園	1	10.47	王禅寺ふるさと公園				1		1
近隣公園	15	28.10	むじなが池公園ほか	5	8		2		1
街区公園	234	26.21	上麻生隠れ谷公園ほか	77	65		6	86	
墓園	1	29.90	早野聖地公園				1	(早野聖地事務所)	
都市林	28	49.43	黒川よこみね緑地ほか	2		8	7	11	
緑道	2	0.94	こやのさ緑道	1				1	
都市緑地	43	25.20	白山南緑地ほか	11	5		3	24	
合計	324	170.25		96	78	8	20	122	2



第3期 麻生区区民会議 ニュース vol.1

2010.11

発行/麻生区区民会議
編集/企画部会
事務局/麻生区役所企画課
電話：965-5112
Fax：965-5200
E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

第3期区民会議がはじまりました

「地域の課題を、区民が主体となって、発見し解決する」ために設置された区民会議※の、第3期がスタートしました。今後は、新たな委員による区民会議が、より住みやすい区を目指し、様々な課題の解決に向けた審議と取り組みをすすめていきます。

※ 区民会議は、平成18年に施行された川崎市区民会議条例に基づいて運営されています。その中で区民会議の主な役割は、「区における地域社会の課題を把握し、その解決を図るための方針や方策について調査審議を行うこと」と定められています。

第1回区民会議

平成22年8月4日(水)に第3期第1回全体会議が開かれました。



磯野区長による委嘱状交付の後、正副委員長の選出が行われ、委員長に武瀧委員、副委員長に天野委員と柳島委員が就任することが承認されました(委員一覧は裏面参照)。

次に区民会議の運営について審議され、麻生区民会議運営要領と今後の会議開催スケジュールがそれぞれ承認されました。

続いて、第3期区民会議で取り上げるべき「調査・審議課題の選定方法」についての審議がなされました。各委員がそれぞれ、提案した課題に関する説明を行いました。広範

囲の分野から、数多くの課題が挙げられており、これらを絞り込むためには時間をかけた審議が必要だという認識で一致しました。そこで、区民会議の運営を担う企画部会の中でそれを行うこと、その際、企画部会に所属していない委員も審議に参加できるようにし、広く議論していくことで承認されました。

最後に、企画部会委員として、正副委員長に加え、3名の立候補がありましたので、計6名と今後決定する専門部会長が構成委員となること、決定しました。(傍聴者9名)

区民会議へのご意見・ご提案は随時募集しています。区役所2階ロビーの「提案箱」やホームページをご利用ください。

区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により掲載されています。



第2回区民会議

2つの専門部会が発足しました

平成22年10月1日(金)第2回全体会議が開かれました。第1回企画部会の審議結果の報告を受け、2つの専門部会、「地域交流・文化部会」と「環境・緑化部会」が発足しました。今後は、それぞれの部会が中心となり、審議課題の選定後、地域課題を調査し、その解決方法を審議し、解決に向けた取り組みを進めます。(傍聴者3名)

第1回企画部会審議結果

- ・部会長：金光委員 副部会長：天野委員
- ・第3期の全体テーマは、専門部会の状況を見ながら、次回企画部会で検討する。
- ・区民会議ニュース、ホームページなどを使い、審議・活動状況を随時広報していく。

第3期麻生区区民会議委員(敬称略) 平成22年10月末現在

氏名	選出区分 所属部会	氏名	選出区分 所属部会
委員長	区長推薦(学識経験者)	金光秀尚	区長推薦(市民自治)
武瀧京子	企画/地域交流・文化		企画/環境・緑化
副委員長	公募	鴨志田敬彦	団体推薦(産業振興)
天野悦子	企画/環境・緑化		地域交流・文化
副委員長	団体推薦(交通安全)	菅原敬子	団体推薦(文化・観光)
柳島五郎	企画/地域交流・文化		地域交流・文化
飯塚 馨	団体推薦(市民自治)	高瀬隆雄	団体推薦(緑・環境)
	環境・緑化		環境・緑化
石井郁朗	区長推薦(地域特性・芸術)	竹市八郎	区長推薦(市民自治)
	地域交流・文化		地域交流・文化
植木昌昭	公募	田中元介	公募
	地域交流・文化		企画/地域交流・文化
魚本陽子	団体推薦(福祉・健康)	土井 司	公募
	地域交流・文化		企画/地域交流・文化
大高泰雄	区長推薦(地域特性-4大学連携)	東川健男	公募
	環境・緑化		環境・緑化
梶 穂	区長推薦(地域特性-農業)	福田 真	公募
	環境・緑化		環境・緑化
勝田佳代子	公募	山崎 優	団体推薦(子育て・教育)
	環境・緑化		環境・緑化

～会議はどなたでも傍聴できます。今後の開催日程は、HPをご覧ください。区民会議ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/73/73soumu/kuminkaigi/index.htm>



第3期 麻生区区民会議 ニュース vol.2

2011.5

発行/麻生区区民会議
編集/企画部会
事務局/麻生区役所企画課
電話：965-5112
Fax：965-5200
E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

心からお見舞い申し上げます

3月11日の東日本大震災で被害に遭われた皆様へ、心からお見舞い申し上げます。どうか与えられた命を尊び、一人ひとりの力を一つにして一刻も早い復興を実現されますよう心からお祈りいたします。また、区民の皆さんも日常生活の中でできることを考え、行動することを通じ、復興に向けた支援に繋がっていきましょう。

いざという時、助け合いの大きな力となるのは、やはり地域住民の方々の固結力です。日頃から人と人のつながりを大切にして地域の絆を深めていきましょう。

麻生区区民会議取り組み状況

平成23年2月24日(木)に第3回全体会議が開かれ、各部会での取り組みが報告されました。これまでの取り組みとその後の部会の審議も含め、現在の状況をお伝えします。



【地域交流・文化部会】

◆高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり◆

区社会福祉協議会が実施している「ささえあい事業」に注目し、この事業の実施内容や課題を調査するとともに、関連する事業や活動にもふれ、「地域で支え合うコミュニケーションづくり」に取り組みます。

そのために、担い手となる町内会・自治会、ボランティア団体、市民活動団体などにヒヤリング調査やアンケートを実施します。

◆区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり◆

しんゆり芸術のまちづくりの推進として、情報発信状況を調査します。なお、第2期のモデル事業だったアルテリカしんゆりへの支援は、今期、区文化協会と区に引き継がれ「麻生区認可保育園の作品展」として、区民会議も協力し、実施されました。

また、平成24年を迎える区制30周年に合わせ、区民参加の地域づくりについても実行委員会の動向を加味しながら、支援・協力方法について検討していきます。

<地域交流・文化部会 勉強会のようす>



「高齢者」の問題が最も優先順位の高い課題だという共通認識に至り、区社会福祉協議会の「ささえあい事業」などについて、勉強会を行いました。(講師：区社会福祉協議会地域課長)

<環境・緑化部会 勉強会のようす>



市のごみ減量対策や生ごみリサイクルの方向性、里山ボランティアの活動状況について勉強会を行いました。(講師：環境局減量推進課減量推進係長、(財)川崎市公園緑地協会職員)

★「エコのまち麻生」啓発用パンフレット★

第2期区民会議で小学校の環境学習資料として「麻生区エコカルテ」が作成され、併せて身近なエコ活動に繋がる取り組みの継続実施が提言されました。それを受け、環境・緑化部会でパンフレットの編集作業を進め3月末に完成しました。区役所資料コーナー、図書館、ホームページなどでご覧いただけます。

【企画部会】

各部会の取組が具体化したことから、全体テーマについても検討しています。また、今後、区町会連合会の協力をいただきながら、アンケート調査などを実施し、区民の方からのご意見を参考にしながら、区民会議の取り組みをすすめていきます。

次回区民会議開催日程 6月8日(水)15時～ 区役所第1会議室

- *区民会議へのご意見・ご提案は随時募集しています。区役所2階ロビー(資料閲覧机上)の「提案箱」やホームページをご利用ください。
- *区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により掲載されています。
- *会議はどなたでも傍聴できます。今後の開催日程は、HPをご覧ください。区民会議ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/73/73soumu/kuminkaigi/index.htm>



第3期 麻生区区民会議 ニュース vol.3

発行/麻生区区民会議
編集/企画部
事務局/麻生区役所企画課
電話: 965-5112
Fax: 965-5200
E-mail: 73kikaku@city.kawasaki.jp

2011.8

麻生区区民会議取り組み状況

区民会議では、2つの専門部会を中心に、地域の課題解決に向けた審議を行っており、その取り組みがすすんできました。また、6月8日(水)に開催された第4回区民会議(全体会議)では、第3期区民会議の全体テーマが決定しています。



「人と人と心をつなぐ地域づくり」

区民会議では、人と人との「きずな」がこれからの地域づくりに大切であり、地域のなかでお互いの協力やつながりを深めることが、地域課題解決のために重要だと考えます。9月25日(日)には、取組課題の一つである「循環型のまち・生ごみリサイクル」を中心に、これまでの区民会議での調査・審議経過などを区民の皆様にご報告するフォーラムを開催しますので、ぜひご参加ください(詳細は裏表紙をごらんください)。

【地域交流・文化部会】

◆ 高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり ◆
「ささえあい」を進める担い手である区の社会福祉協議会(区社協)やボランティア団体(グッドネイバース、柿の会、さしず)、町内会・自治会に、活動状況や取り組みなどの課題についてヒアリングを行いました。併せて、地域福祉関連の制度や個人情報の取り扱いなどに関する勉強会を開催し、ささえあいを行う上での現状の課題の整理などを進め

てきました。その結果、様々な支援制度や取り組みが行われているものの、必ずしも十分な活用がされていないことなどが明らかになってきました。そこで、利用度が低い原因を分析し、具体的に見えてきた課題をどのように解決していくか、現在審議をすすめています。東日本大震災を契機として、「きずな」の重要性が様々なところで再認識されていますが、日ごろのきずながあってこそ、災害時も助け合えるという視点を取り入れ、取り組んでいきます。

◆ 区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり ◆

新百合ヶ丘駅周辺を中心に、実施されている様々な文化芸術関連イベントの認知度を更に高め、「しんゆり芸術のまち」のイメージを一層強化していくための情報発信方法や各種イベントの区民の関わり方などを検討することになりました。そこで、区内で活動している文化芸術イベント実施団体にヒアリング調査を行っています。ヒアリング調査結果などから、課題を抽出し、解決に向けた提言につなげていきます。



KAWASAKI しんゆり映画祭へのヒアリング

【調査対象】

- 麻生音楽祭
- 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリカしんゆり)
- Kirara@アートしんゆり
- しんゆり・オリブまつり
- KAWASAKI しんゆり映画祭
- あさお芸術のまちコンサート
- あさお区民まつり
- あさお福祉まつり

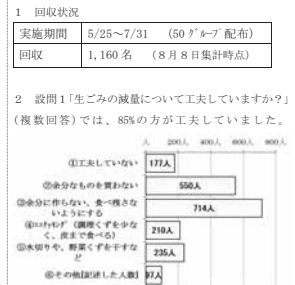
【環境・緑化部会】

★循環型のまち・生ごみリサイクル★

誰もが関われる身近なエコとして、各家庭から出るごみの減量化やリサイクルを促進する取り組みの中で、生ごみの減量、リサイクルが余り進まない理由を調査するため、5月～7月に区民を対象とした「麻生区生ごみア

ンケート」を実施しました。町内会・自治会、市民活動団体などにご協力をお願いし、市政だよりやホームページでも広く呼びかけ、区役所のロビーやスーパーでも、区民会議委員が直接アンケート記入のお願いをしました。ご協力いただいた皆様にご感謝申し上げます。

<麻生区生ごみアンケート結果>



今後、アンケート結果の分析を進め、生ごみについて現状を把握し、課題を整理し、解決に向けた方策を検討していきます。

なお、アンケート結果の詳細な報告は、9月25日(日)に開催する区民会議フォーラムで発表するとともに、区のホームページ等にも掲載していきます。



★グリーンアップ・里山ボランティア★

麻生区には、川崎市内の農地・山林のうち約4.2%が集まっています。これら緑の資源を保全するための新たな里山ボランティア制度を検討しています。そこで、区内にある市有地の緑地の中から、手付かずの場所を選定し、市の調整・運営支援のもと、地元町内会・自治会、緑の保全活動団体、公募ボランティアと協働して下草刈りなどを行うモデル事業を実施することになりました。

モデル事業の実施に向けた事前調査として、6月26日(日)に、(財)川崎市公園緑地協会が実施するさやま研修会に区民会議委員が参加し、下草刈りを体験しました。



6月26日のさやま研修会

また、7月27日(水)に、区道路公園センターで選定した活動候補地4箇所を見学しました。この中から最終的に2箇所程度に絞りこみ、地元町内会・自治会などへの協力を呼びかけ、11月～12月に、下草刈りなどを実施する予定です。

なお、参加するボランティアの募集は、市政だよりなどで行います。

モデル事業実施後、結果の検証を行い、緑の資源を活かしたまちづくりのための提言をまとめていきます。

【企画部会】

企画部会では、区民会議の取り組みを区民の皆さまに報告するため、区民会議フォーラムの開催を決定しました。開催は、9月25日(日)と平成24年2月ごろの計2回とし、第1回は環境・緑化部会が、第2回は地域交流・文化部会が中心となって企画検討し、企画部会が調整する形で進めていきます。

生ごみ堆肥・肥料で作った花や野菜の写真展

9月12日(月)～9月25日(日)まで、区役所ロビーで写真展を行います。写真展の作品を9月9日(金)まで募集していますので、ぜひ応募してください。申し込み用紙は、区役所ロビーに配布しているほか、区ホームページからもダウンロードできます。



*区民会議へのご意見・ご提案は随時募集しています。区役所2階ロビーの「提案箱」やホームページをご利用ください。
*区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により回収されています。
*区民会議はどなたでも傍聴できます。今後の開催日程は、HPをご覧ください。お買になるが事務局にお問合せください。



次回区民会議 8月29日(月) 15時～ 区役所第1会議室

区民会議ホームページ: <http://www.city.kawasaki.jp/73/73soumu/kuminkaigi/index.htm>

麻生区区民会議フォーラム 「循環型のまち・生ごみリサイクル」

～生ごみ先生・いのちの循環と食育を語る～

第3期区民会議が取り組む課題の一つ「循環型のまち・生ごみリサイクル」を中心に紹介します。

平成23年 9月25日(日) 13:30~16:30 (開場 13:00)
麻生区役所4階(第1・2会議室)

当日
先着150名
事前申込み不要
入場料なし

13:40～ 区民会議報告 麻生区生ごみアンケート報告など

13:50～ 川崎市の生ごみの現状とその取り組み

14:00～ 講演
「生ごみ先生・いのちの循環と食育を語る」
～免疫力をアップ、食が変わった!究極の元気っ子たち～
講師: NPO法人大地といのちの会理事長 吉田 俊道氏

15:30～ 各取り組み団体による事例発表

- 食育と堆肥化の実践報告(すきご保育園)
- 生ごみ堆肥を使った野菜づくりの実践(福祉施設・はくま工房)
- 川崎市助成金を活用した取り組み(新あさお生ごみ隊)
- 小田急グループの液状飼料化の取り組み(株式会社小田急ビルサービス)

展示ブース

生ごみリサイクルに使う資機材の展示など

講師プロフィール

NPO法人大地といのちの会理事長 吉田 俊道(よしだ としむち)

1959年 長崎市生まれ。九州大学農学部大学院修士課程修了後、

1996年 長崎県庁を退任、有機農業家として新規参入。

1999年 佐世世帯を拠点に「大地といのちの会」を結成し、九州を拠点に生ごみリサイクル元野菜作りと

元々人間性の養成を事業としている。

2007年 同会が総務大臣賞(「循環型都市」)を受賞。

2009年 食育推進ボランティア表彰(内閣府特命担当大臣表彰)。

長崎環境アドバイザー、

主な著書:「いのちの輝き(元々野菜のひみつ)」「生ごみ先生の元気野菜革命」

「まごころいただきます!」など。

参加記念

生ごみ肥料「みどりくん」

当日先着150名様に贈呈

同時開催イベント

「地元産野菜等の直売会」

(区役所前広場)

「生ごみ堆肥・肥料で作った花や野菜の写真展」

(区役所2階ロビー) 9/12～25

主催:麻生区区民会議

お問い合わせ先 麻生区区民会議事務局 麻生区役所企画課

TEL.044-965-5112 FAX.044-965-5200

ご来場は、公共交通機関をご利用ください。



第3期 麻生区区民会議 ニュース vol.4

発行/麻生区区民会議
編集/企画部
事務局/麻生区役所企画課
電話：965-5112
Fax：965-5200
E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp



フォーラムでの手振りを交えた吉田氏の講演

各部会の取り組み状況

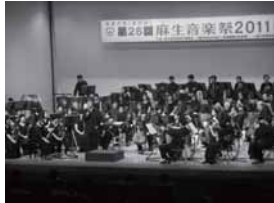
【地域交流・文化部会】

◆ **高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり** ◆
「ささえあい」を進める担い手である区の社会福祉協議会やボランティア団体などにヒアリングを行った結果、様々な支援制度や取り組みが行われているものの、十分な活用がされていない現状が明らかになりました。そこで課題解決の一つである広報活動に関し、ささえあいを必要とする高齢者、障がい者が情報に届く広報方法や、各団体の取組をPRできる機会などを検討しています。また、ボランティア団体や町内会・自治会などの地域活動の担い手づくりの工夫、活動に参加しやすい環境づくりや、住民間のささえあい活動を推進する取り組みについて審議しています。さらに、高齢者の交通手段に向けたコミュニティバスの検討や、コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワーク、ご近所防災マップの整備などについても審議し、暮らしやすい環境づくりに向けて検討を重ねています。

麻生区区民会議では、平成23年8月に第5回区民会議（全体会）を開催し、引き続き、各部会での調査・審議を継続しています。また、9月に「循環型のまち・生ごみリサイクル」フォーラムを開催しました。3月3日（土）には、第2回区民会議フォーラムを開催し、これまでの取り組みを区民の皆さまに報告し、意見交換を行いますので、ぜひ御参加ください。（詳細は裏表紙をごらんください）

◆ 区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり ◆

6～9月に「しんゆり・芸術のまち」を進めている麻生区をフィールドとして活動している芸術文化事業の実施主体（組織）にヒアリング調査を行いました。その結果、麻生区は芸術に関心がある人や、関連のサークルが多く、自主性を持ってボランティアに参加する人が多いという特徴があり、周辺で開催されるイベントとの連携や、教育機関と協働した取り組みも可能であるという利点が明らかになりました。



麻生音楽祭（7月にヒアリング実施）

一方で、参加者増加、周知徹底のための広報の手段・方法・タイミングの工夫が必要という点や、各イベントをつなぐための組織の設置、練習場所の確保など施設・設備関連の要望、行政の協力・支援の必要性などの課題も明らかになりました。今後、これらの課題を考察した上で、区民会議としての提言を行うこととします。

【環境・緑化部会】

★ 循環型のまち・生ごみリサイクル ★

5～7月に区民を対象に行った「麻生区生ごみアンケート」では、生ごみリサイクルをしている方の半数が「庭に埋めている」という方で、堆肥回収不要と答えた方が75%ありました。これは「堆肥が必要な方や使いたい方が生ごみリサイクルしている」とも考えられますが、「マンションでは堆肥化しても使えない」との理由で、リサイクルを行わないまたは諦めてしまう場合も考えられます。その一方で堆肥を必要としている畑や公共緑地は区内に多くあります。

そこで、作った生ごみ堆肥を使わない方に必要な方へ、身近な地域内での機運を、資源循環できるような仕組みを作るため「堆肥あげます・もらいます」モデル事業を行っています。

【モデル事業】「乾燥生ごみなど集めず」

日時：12月～3月までの第4土曜日
(12/24・1/28・2/25・3/24)
午前9時～11時
場所：麻生区役所ロビー（ごみ相談コーナー横）
対象：台所から出た生ごみを電動生ごみ処理機にかけたもの。ただし、3/24（土）のみ、ダンボールコンポストなどで作った完熟堆肥も集めます。悪臭がないものを、袋に入れ、こぼれないよう密閉して持参してください。集めたものは麻生区内で有効活用させていただきます。ご自宅に使い切れないうち、ぜひご持参ください。

このモデル事業を通じて、区民の皆様から、生ごみや堆肥の使い道についてのご意見や現状も伺い、実施結果やこれまでの取組と併せて、区民会議としての提言にまとめていきます。

★ グリーンアップ・里山ボランティア ★

麻生区の緑の資源を保全するため、市有地の中で手入れが必要な場所について、区の調整・運営支援のもと、公募ボランティアの方々と協働した緑地保全活動モデル事業を実施しました。

12月10日（土）、月読緑の保全地域（麻生区下麻生）に、市政だよりなどで応募された方と区民会議委員など計20名が集まりました。森林インストラクターから道具の使い方などの指導を受けた後、木々の間の草刈りや枝打ちなどの作業を行いました。実施結果を踏まえ、今後の取組方法などについて検討していきます。



月読緑の保全地域での作業

※区民会議へのご意見・ご提案は随時募集しています。区役所2階ロビーの「提案箱」やホームページをご利用ください。
※区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により掲載されています。
※区民会議とはなでも傍聴できます。今後の開催日程は、HPをご覧ください。お気軽に各事務局にお問合せください。



区民会議フォーラム開催報告

「循環型のまち・生ごみリサイクル」フォーラム ～生ごみ先生・いのちの循環と食育を語る～

- 1 日時 平成23年9月25日（日）
午後1時30分～4時30分
- 2 場所 麻生区役所会議室
- 3 参加者 105人

取組課題の一つである「循環型のまち・生ごみリサイクル」を中心に、これまで区民会議で行われた調査・審議経過を区民の方々に報告して意見をいただくとともに、ごみ減量に向けた取組について、区民の方々が考え、行動するきっかけとすることを目的にフォーラムを開催しました。

- 区民会議報告
区民会議から、5～7月に行った生ごみアンケートの中間結果報告や横浜市資源循環局への訪問報告を行いました。アンケート結果から、現在、生ごみをリサイクルしている方は23%ですが、堆肥化が簡単ならやってみたいという方は1%にのぼることがわかりました。
- 川崎市における生ごみの現状と取組について市環境局からの説明がありました。
- 講演：「生ごみ先生・いのちの循環と食育を語る」～免疫力集中力アップ。食が変わった！究極の元気っ子たち～
NPO法人「大地といのちの会」理事長の吉田俊道氏による講演を行いました。『生ごみが土に生命（微生物）とミネラルを増やし、土の生命力が元気野菜へと繋がります。生ごみリサイクルにより、虫の来ないおいしい野菜を作ることができます。大地を元気にして、食べ物も元気にして、人間も元気にしよう』とユーモアたっぷりに、楽しくわかりやすいお話をしていただきました。

●事例発表

- ・「すぎのご保育園」食育と堆肥化の実践報告
- ・「福祉施設・はぐるま工房」生ごみ堆肥を使った野菜づくりの実践
- ・「新あさお生ごみ隊」川崎市生ごみリサイクル活動助成金を活用した取り組み
- ・「（株）小田急ビルサービス」小田急グループの液状肥料の取組み

参加者の感想から・・・
「区民会議報告」は、「よく理解できた」「理解できた」という方が79%を占めた一方、「第1期・第2期からの発展性がよく見えなかった」という御意見もいただきました。
「吉田氏の講演」については、「大変参考になった」「参考になった」という方が94%を占めました。

また、当日は、展示ブースの生ごみ相談会やJAセレス川崎の取組紹介、区役所前広場での「JAセレス川崎」と「福祉施設・はぐるま工房」の協力による地元産野菜等の直売会、区役所ロビーでの生ごみ堆肥・肥料で作った花や野菜の写真展（46点）も開催されました。



区役所ロビーでの写真展

次回区民会議 2月13日（月）15時～ 区役所第1会議室
区民会議ホームページ：http://www.city.kawasaki.jp/73/73soumu/kuminkaiji/index.htm

第2回 麻生区 区民会議フォーラム

～人と人と心をつなぐ地域づくり～

第3期麻生区区民会議で地域課題解決に向けて調査を行った経過報告とともに、「地域のかげづくりに関連した講演・パネルディスカッションを開催します。麻生区地域課題について一緒に考えてみませんか。」

平成24年 3月3日（土） 13:30～16:30
(開場13:00)
麻生区役所4階 第1・2会議室

あのNHKスペシャル
「無縁社会」
担当のディレクターが
講演します。

当日
先着150名
事前申し込み不要
参加無料

プログラム

- 13:30～ 開会
- 13:35～ 区民会議報告 地域交流・文化部会
環境・緑化部会
- 14:30～ 講演
「地域での絆づくりについて考える」
～無縁社会と地域でささえあう関係づくり～
●講師 板垣 淑子氏

- 15:20～ パネルディスカッション
「地域の絆づくり」
～ささえあい活動を進めるためには～
●司会 板垣 淑子氏
●パネリスト
新百合ヶ丘自治会 樋口 誠氏
麻生区社会福祉協議会 足立 真氏
麻生区地域包括支援センター 菊池 裕子氏
区民会議 石井 郁朗氏

講師

板垣 淑子氏
首都圏放送センター-特報部 編集チーフプロデューサー。1994年NHKに入社。番組編集・放送センター、総合放送、報道番組センター、報道番組センター-社会部 編集、現在、首都圏放送センター-在職。主な作品に、NHKスペシャル「キングオブ」(2006年)、NHKスペシャル「イーストウッド」(2007年)、NHKスペシャル「無縁社会」(2010年)ほか多数。

地域づくり展示コーナー

高齢者や障害者が暮らしやすい環境づくり、地域でのささえあい活動に貢献している活動団体などの取組を紹介。
ゲスト：ネイバーズ、認知グループの集い、区社会福祉協議会、区内地域包括支援センター

芸術イベント展示コーナー

「しんゆり・芸術のまち」にちなみ、区で年間を通して行われる芸術関連イベントを紹介。
麻生音楽祭、KAWASAKIしんゆり映画祭、川崎・しんゆり芸術祭、Kirara@アートしんゆり、しんゆり・オリブまつり、あさお区民祭、あさお福祉まつり、あさお芸術のまちコンサート

※講師、パネリスト、展示内容は変更になる場合があります。



主催/麻生区区民会議
お問合せ先/麻生区区民会議事務局
(麻生区役所企画課)
TEL 044-965-5112 FAX 044-965-5200
※ご来場は、公共の交通機関をご利用ください。



2012.3

第3期 麻生区区民会議 ニュース vol.5

発行/麻生区区民会議
編集/企画部
事務局/麻生区役所企画課
電話: 965-5112
Fax: 965-5200
E-mail: 73kikaku@city.kawasaki.jp

平成22年7月から始まった第3期区民会議は、6月で2年間の任期が終了します。任期の終盤に差し掛かり、各部会の調査審議もまとめの段階に入ってきました。平成24年2月13日(月)に第6回区民会議を開催、各部会から取り組み状況の報告があり、意見交換が行われました。また、3月3日(土)に第2回区民会議フォーラムを開催しました。



各部会の取り組み状況

【地域交流・文化部会】

◆ 高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり ◆

「ささえあい」を進める各種団体へのヒアリングから、様々な支援制度や取り組みが行われているにもかかわらず、十分な活用がされていない現状が明らかになり、「ささえあい」を必要とする高齢者や障がい者のごとくに情報が届く方法を検討しています。具体的な解決方法として、市政だよりに麻生区版特別号の発行や、必要なときに必要な情報が得られるような保存版ガイドブックの発行、各取り組みをPRできる機会、例えば区民会議フォーラムなどを利用した広報活動が考えられています。



また、「地域の絆づくり」は、町内会活動を進める上で基本なことですが、実際に絆をつくるため、町内会等では、様々なイベント等を通じて地域交流の場を設ける努力をされています。世帯数が少ない町内会で、単独でイベントを行うことが難しい場合には、他の町内会と連携したり、ボランティア団体や市民交流館やまゆりでのノウハウを活かして行

ことができないか等、具体的な絆づくりの方法を検討しています。

さらに、「ささえあい」の担い手づくりのため、地域人材の発掘と育成の必要性が明らかになりました。町内会・自治会レベルでは、これまで仕事で培った知識や豊富な社会経験を持った人が地域デビューをして、その能力を十分に発揮できるようにする仕組みが必要であり、一方、区レベルでは、地域デビュー養成講座や、市民館の生涯学習などを通じて人材育成を行い、それを地域の担い手づくりにつなげていく方法が必要とされます。



その他、山坂が多い麻生区で高齢者の移動手段の確保が重要になることからコミュニティバスの必要性や、社会問題となっている自殺者の増加に関して「コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワーク」が機能する取り組みなどについても提案が出されました。これらの課題全てに具体的な提案をすることは、期間的な問題もあり難しいところですが、絆づくりの機運が高まっている現在、できる限りの具体的な提言にまとめていくこととします。

◆ 区民が主体となって進める 芸術・文化のまちづくり ◆

文化芸術事業の実施主体へのヒアリング調査の結果、主な課題が見えてきました。まず、広報活動に関し、参加者増加や周知徹底のための手段・方法・タイミングなどの工夫が必要であること。次に、一部のイベント間では連携の動きがあるが、さらに拡大して連携する取り組みが必要であること。また、練習場所など活動の場の確保や、既存施設の音響照明の改良が必要であること。さらに、イベント時の案内や掲示などの制限が多く、「にぎわい」を演出することが困難であること。これらの課題に対し、次の3つの解決策を検討しています。

1 文化担当官(仮称)の設置…多くの区民がさまざまな方法で芸術・文化を楽しめる体制づくりや、地域団体との連携、幅広い地域情報の収集・発信を継続的に推進するための一本化した窓口を設置する。

2 麻生文化会議(仮称)の設置…各イベントなどの関係者が一同に会し、年間を通じた情報発信、相互協力を行う。広報協力、人材交流、地元芸術家や団体のネットワークとしての機能を担う。



3 川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用…イベント開催時の新百合ヶ丘周辺の広告幕、のぼりや立て看板の設置などの制限について、条例の弾力的な運用に向けた協議を行い、景観の美しさと「にぎわい」が共存する街づくりを検討する。

今後、これらを骨子とした提言をまとめていきます。

【環境・緑化部会】

★ 循環型のまち・生ごみリサイクル ★

5～7月に区民を対象に行った「麻生区生

ごみアンケート」の結果を踏まえ、作った生ごみ堆肥を使わない方から必要な方へ搬渡しし、資源を循環できるように仕組みを考えたため、生ごみリサイクルモデル事業を行いました。12月～3月までの第4土曜日に、区民会議委員が、区役所ロビーにおいて、乾燥生ごみ(3月のみ完熟堆肥も)の回収を行いました。回収後は、区内の福祉施設「はくろま工房」にて完熟堆肥にして、地域の園路の花壇に植える花苗を育てるために使います。



当初の検討段階では、各回とも家庭でできた完熟堆肥を集めることを考えましたが、廃棄物処理法や肥料取締法による規制があることがわかり、法律に抵触しない範囲で、乾燥生ごみを集めることとしたものです。市政だよりの掲載やチラシの配布により区民の皆さんへの広報はしていたものの、震災以降、節電のため電動生ごみ処理機を使用しなくなった方も多く、回収できたのはわずかでした。しかし、生ごみの減量や堆肥化の方法を相談される方は多く、関心の高さを感じられました。この実施結果やこれまでの取り組みを通じ、区民会議としての提言を行っていきます。

★ グリーンアップ・里山ボランティア ★

保全緑地に指定されながら保全管理されていない麻生区内の緑地(市有地)について、里山ボランティアを公募し、下草刈りなどを行うモデル事業を実施しました。公募の参加者は、募集人数より下回りました。

だが、参加者へのアンケートの結果、「楽しかった」「また参加したい」という声が多く、「今後、同様の取り組みがあったら案内をして欲しい」という意欲的な感想もあり、森がきれいになった体験をみんなで共有できました。効果的な参加者募集方法が、今後取り組みを広げる際の課題として残っています。

このモデル事業は1回しか実施できず、新たな組織の立ち上げまで行うことはできませんでしたが、活動継続に向けた調整を行い、実施主体である緑の保全団体や、他の団体、地域の町内会等との連携も検討し、提言をまとめていきます。

第2回区民会議フォーラム開催報告

～人と人と心をつなぐ地域づくり～

- 1 開催日時 平成24年3月3日(土) 午後1時30分～4時30分
- 2 開催場所 麻生区役所会議室
- 3 参加者数 83人

第3期麻生区区民会議で地域課題解決に向けて調査審議を行ってきた経過報告とともに、「地域の絆づくり」に関連した、講演・パネルディスカッションを開催しました。また、会場には、地域づくりと芸術イベントの展示コーナーを設け、団体の活動や芸術イベントを紹介しました。

●区民会議報告
区民会議のこれまでの審議経過・取り組みを報告しました。



●講演: 「地域での絆づくりについて考える」～無縁社会と地域でささえあう関係づくり～NHK首都圏放送センター・特報首都圏チーフプロデューサー、板垣淑子氏による講演を行いました。

板垣氏が制作に携われたNHKスペシャル「無縁社会～新たなつながりを求めて」(平成

23年2月11日放送)の一部を放映した後、取材時の感想などを交えてお話ししていただきました。



官報の掲載記事では氏名不詳となっているが、住んでいたところに赴き少し取材しただけで氏名や出身地、働いていた会社までわかる。しかし、出身地に血縁がなくなり住所が変わってしまうと、先祖のお墓があるにもかかわらず、無縁という扱いになってしまうという衝撃的な事例の紹介がありました。また、取材中に知り合った方が手術することになり、保証人が必要となったが血縁者がいない。良く知っている方なので、代わりにサインをしようとしたが、血縁者でないので受理されず手術できない。結局、病院が紹介した保証協会にお金を払って保証してもらった、ということと人の縁よりもお金で保証を賈うることになったというお話もありました。さらに、独り暮らしで、万一家の中で倒れたらということを心配していたが、ご近所のような境

遇の方と、お互いに元気がどうか確かめるサインを決めてからは安心して生活できるようになった、と新たな縁をつくった事例もお話しいただきました。

参加者の感想から…「現場を取材した方ならではの貴重なお話でした。」「絆もお金で買える時代という事で、あらためて絆の希薄さを感じました。」

●パネルディスカッション

「地域の絆づくり～ささえあい活動を進めるために～」と題し、日頃、地域でささえあいに関する取り組みを実践されている方々から取材済み紹介や意見交換をしていただきました。



○「新百合ヶ丘自治会」樋口氏から…自治会独自で自治会版防災時要援護者支援の運用基準を策定し、運用を開始している。援護が必要な方の了承を得て、登録時に自治会役員や実際近隣で支援してくれる方への情報提供を行い、支援者の確保を行っていることなどお話しいただきました。

○「麻生区社会福祉協議会」足立氏から…震災に際したボランティア支援の取り組み事例や、今後地域活動の支援のため、様々な形で連携をすすめていきたいとお話がありました。

○「新百合ヶ丘地域包括支援センター」菊地氏から…地域包括支援センターで行っている4つの事業の紹介や、町内会や民生委員との会議を開催し連携をはかっていること、地域で介護予防や体験教室などを通して高齢者の交流の場を設ける取り組みを行っていること

のお話がありました。

○「区民会議」石井委員から…地域でささえあい活動を行っているボランティア団体や町内会・自治会にヒアリング調査した結果を紹介しました。紹介させていただいたのは次の団体です。

- 「グッドネイバース」…在宅の一人住みの高齢者の生活支援など
- 「柿の実会」…65歳以上の障害のある方や食事づくりが困難な方に手作り弁当を配達
- 「さしす」…肢体不自由、発達障害、自閉症のグループに分かれてキャンパ、お話し会などを実施
- 「岡上町内会」…民生委員活動をサポートするボランティアの活用検討など
- 「千代ヶ丘町会」…防災対策で川崎授産学園と協定を結び災害時の学園の避難協力を実施など

パネリストからは、地域でのささえあいを進めるためには、独自の取り組みだけでは限界があり、連携した活動が必要との意見が出されました。

参加者の感想から…「包括支援センター、看護師、自治体、ボランティア等の人たちがそれぞれ協力合せて、一人暮らしの高齢者の見守りができるようなネットワーク作りが必要と感しました。」

●展示コーナー



参加者の感想から、「区民会議への要望」として、「区内全体を見渡した取り組み、地域間での温度差を少なくしていくような取り組みなども期待します。」「区民会議の提言を、より有効に継続させるための方向性を検討してほしいと思います。」などの貴重なご意見をいただきました。今後の取り組みの参考にさせていただきます。

次期区民会議 5月25日(金)15時～ 区役所第1会議室 ※区民会議はどなたでも傍聴できます。 区民会議ホームページ: <http://www.city.kawasaki.jp/73/3soumu/kuminkaiji/index.htm>

循環型のまち目指せ 区民会議に先駆け写真展

麻生区民会議フォーラムが今月25日(日)に開催されるのに先駆け、麻生区役所のロビーで「生ごみ堆肥・肥



料でつくった花や野菜の写真展」が開催されている。同イベントを主催する麻生区民会議が区内在住の市民らから写真を募り、家庭菜園などを写した6点の作品が集まった。

区民会議フォーラムは今月25日(日)13時半から区役所4階で行われる。「生ごみ先生」のいのちの循環と食育を語る、免疫力集中力アップ・食で変わったノ究極の元気つ子たち」をテーマに講演が行われるほか、市の生ごみの現状や取り組みの紹介が行われる(参加費無料、当日先着で受付)。

展示は今月25日まで行われる。問い合わせは麻生区役所企画課 ☎044(965)5112まで。

「乾燥生ごみ」地域で活用

麻生区役所で回収始まる



同部会では「循環型のまち・生ごみリサイクル」をテーマに、調査や審議を進めている。この取り組みは昨年5月〜7月に実施した調査で、生ごみの堆肥化を断念または中止した人から堆肥を作っても使い道がないや「ベランダでは使えない」という理由があったことから実現した。

家庭で余った乾燥生ごみを麻生区役所で回収し、堆肥の使い道を仲介することで、生ごみリサイクルの促進と継続を図ることが狙い。回収した乾燥生ごみは区内にある作業所で堆肥化し、花や苗木の肥料として活用されることが決まっているという。

3月までの月1回、麻生区役所ロビー(ごみ相談コーナー横)で受け付ける。3月には乾燥生ごみのほかダンボールコンポストなどで作った発酵堆肥の回収も行う。

実施日は1月28日(日)、2月25日(日)、3月24日(日)の午前9時から1時まで、回収には、東京農産大学で作った生ごみ肥料「みどりくん」を配布する。

問い合わせは麻生区役所企画課 ☎044(965)5112まで。

※乾燥生ごみ(台所などででた生ごみを電動生ごみ処理機にかけたもの)。

※ダンボールコンポスト(家庭ででた生ごみを基料とともにダンボールに入れ、堆肥化するもの)。発酵堆肥とは易分解な有機物が少なくなった堆肥のことを言う。

●区民会議フォーラム「人と人と心をつなぐ地域づくり」

3月3日(土)13時30分〜16時30分、麻生区役所4階第1・2会議室(新百合ヶ丘駅2分)。

地域課題解決に向け行った調査審議の経過報告、「地域の絆づくり」に関する講演・パネルディスカッションを開催。講師/板垣淑子(NHK首都圏放送センターチーフプロデューサー)。当日先着150人。無料。問合せ ☎965・5112。

第3期麻生区区民会議報告書

(平成24年6月)

発行：麻生区区民会議

事務局：麻生区役所まちづくり推進部企画課

〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1

電話：044-965-5112 FAX：044-965-5200

E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

